

＜参考資料＞

- 1. 景観行政の取り組み経緯**
- 2. 市民意識調査結果概要**
- 3. 景観形成ガイドプラン策定体制**

1. 景観行政の取り組み経緯

(1) 近年の動向

事 項	概 要
美しい国づくり政策大綱の策定 (平成 15 年 7 月)	<ul style="list-style-type: none"> • 国の景観整備の基本的な考え方と具体的な施策をまとめた政策大綱。 • 社会資本の量的な整備から質的な整備への転換を、社会資本整備を目的でなく手段であることを基本認識。 • 取り組みの基本姿勢;①地域の個性重視、②美しさの内部目的化、③良好な景観を守るための先行的、明示的な措置、④持続的な取り組み、⑤市場機能の積極的な活用、⑥良質なものを長く使う姿勢と環境整備 • 15 の具体的な施策;①事業における景観形成の原則化、②公共事業における景観アセスメント(景観評価)システムの確立、③分野ごとの景観形成ガイドラインの策定等、④景観に関する基本法制の制定、⑤緑地保全、緑化推進策の充実、⑥水辺・海辺空間の保全・再生・創出、⑦屋外広告物制度の充実等、⑧電線類地中化の推進、⑨地域住民、NPO による公共施設管理の制度的枠組みの検討、⑩多様な担い手の育成と参画推進、⑪市場機能の活用による良質な住宅等の整備促進、⑫地域景観の点検促進、⑬保全すべき景観資源データベースの構築、⑭各主体の取り組みに資する情報の収集・蓄積と提供・公開、⑮技術開発
景観法の施行 (平成 16 年 12 月)	<ul style="list-style-type: none"> • 日本の都市、農山漁村等における良好な景観の保全・形成を促進するための日本初の景観に関する総合的な法律。(国土交通省所管、農林水産省、環境省共管) • 良好な景観の保全・形成に関する基本理念、住民・事業者・行政の責務を宣言。景観計画(景観条例)を通じて法の運用。 • 景観計画に定める事項;「景観計画区域」、「景観計画区域における良好な景観の形成に関する方針」、「良好な景観の形成のための行為の制限に関する事項」、「景観重要建造物又は景観重要樹木の指定の方針(当該区域内に指定対象がある場合)」を必須事項。必要に応じて、「屋外広告物の表示及び屋外広告物を掲出する物件の設置に関する行為の制限に関する事項」、「景観重要公共施設の整備に関する事項」、「景観農業振興地域整備計画の策定に関する基本的な事項」等を選択して定めることが可能。
歴史まちづくり法の施行 (平成 20 年 6 月)	<ul style="list-style-type: none"> • 文化財行政とまちづくり行政とが連携し、地域における歴史的風致の維持及び向上を図るための法律。(正式名称「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」) • 市町村において、文化財保護部局とまちづくり担当部局が共同して文化財の保存活用と調和のとれた歴史まちづくりの計画を策定。(文化庁、国土交通省、農林水産省が共同で認定) • 都市計画において、歴史的風致維持向上地区計画の制度の創設。

＜参考資料＞ 景観行政の取り組み経緯

(2) 景観行政の取り組み経緯

年度	景観形成に関する磐田市の動き	景観形成に関する国や県の動き
昭和63年度		静岡県景観形成ガイドプラン策定 第1回静岡県都市景観賞実施
平成3年度	○磐田市都市景観形成ガイドプラン策定(旧磐田市)	第1回都市景観大賞(都市景観 100選)実施(以降 H12 年度まで実施)
平成5年度	○豊岡村都市景観形成ガイドプラン策定(旧豊岡村)	
平成6年度	○竜洋町都市景観形成ガイドプラン策定(旧竜洋町)	
平成8年度	●「豊田香りの公園」が第7回緑の環境デザイン賞(建設大臣賞)を受賞 ①	
平成9年度	●「磐田市立総合病院」が第8回緑の環境デザイン賞(緑化大賞)を受賞 ②	
平成10年度	●「33 番池ふれアイランド」が第11回静岡県都市景観賞(優秀賞)を受賞 ③	
平成11年度	●「豊岡とれたて元気村」が第12回静岡県都市景観賞(優秀賞)を受賞 ④	
平成12年度	●「静岡ファクトリーパーク」が第13回静岡県都市景観賞(優秀賞)を受賞 ⑤	
平成13年度	●「ひょうたん池」が第14回静岡県都市景観賞(優秀賞)を受賞 ⑥ ●「豊田香りの公園」が環境省 かおり風景 100 選に選定	第1回都市景観大賞(美しいまちなみ賞)実施(以降毎年実施)
平成15年度	(○静岡県屋外広告物条例に基づく許可事務の委譲)	
平成16年度	●「竜洋海洋公園」が第17回静岡県都市景観賞(優秀賞)を受賞 ⑦	景観法制定
平成17年度	《新磐田市誕生》 ○磐田市環境美化条例施行 ◆磐田市商店街美化事業費補助金交付制度施行(旧磐田市の制度の継続) ◆磐田市花の会活動事業費補助金交付制度施行(旧豊岡村の制度の継続) ◆磐田市見付地区景観形成モデル事業費補助金交付制度の施行(旧磐田市の制度の継続) ◆磐田市景観形成アドバイザー制度施行(旧磐田市の制度の継続)	景観法施行 新静岡県景観形成ガイドプラン策定
平成18年度	○磐田市環境基本条例施行 ○磐田市総合計画策定 ●「東海道見付宿の佐鳴予備校と町並み修景」が第19回静岡県都市景観賞(優秀賞)を受賞 ⑧ ◆磐田市アダプト・ロード制度施行	静岡県森林景観形成ガイドライン策定 しずおか公共サイン整備ガイドプラン策定
平成19年度	○磐田市都市計画マスタープラン策定 ○磐田市国土利用計画策定 ○磐田市環境基本計画策定 ○磐田市緑の基本計画策定 ○磐田市農業振興地域整備計画策定 ○磐田市公共サイン計画策定 ⑨ ●「ロックフィールド(株)静岡ファクトリー」が緑化優良工場表彰(関東経済産業局長表彰) ◆磐田市まち美化パートナー制度施行(アダプト・ロード制度からのステップアップ) ⑩	富士山静岡空港(中東遠)地域の公共サイン整備行動計画策定
平成20年度	○見付地区景観計画の検討	第1回静岡県景観賞実施(都市景観賞からの名称変更)
平成21年度	○景観形成ガイドプランの検討	
平成22年度	○景観形成ガイドプランの策定 ●「ロックフィールド(株)静岡ファクトリー」が緑化優良工場表彰(経済産業大臣表彰)	

注:○は計画・条例等の策定、●は景観賞の受賞、◆は景観に関する支援制度等

〈参考資料〉 景観行政の取り組み経緯

①第7回緑の環境デザイン賞(建設大臣賞)



豊田香りの公園

②第8回緑の環境デザイン賞(緑化大賞)



磐田市立総合病院

③第11回静岡県都市景観賞(優秀賞)



33 番池ふれあいランド

④第12回静岡県都市景観賞(優秀賞)



豊岡とれたて元気村

⑤第13回静岡県都市景観賞(優秀賞)



静岡ファクトリーパーク

⑥第14回静岡県都市景観賞(優秀賞)



湧水を活かしたひょうたん池

⑦第17回静岡県都市景観賞(優秀賞)



水と光と緑の竜洋海洋公園

⑧第19回静岡県都市景観賞(優秀賞)



東海道見付宿の佐鳴予備校と町並み修景

⑨磐田市公共サイン計画



著名地点誘導サイン(森岡)

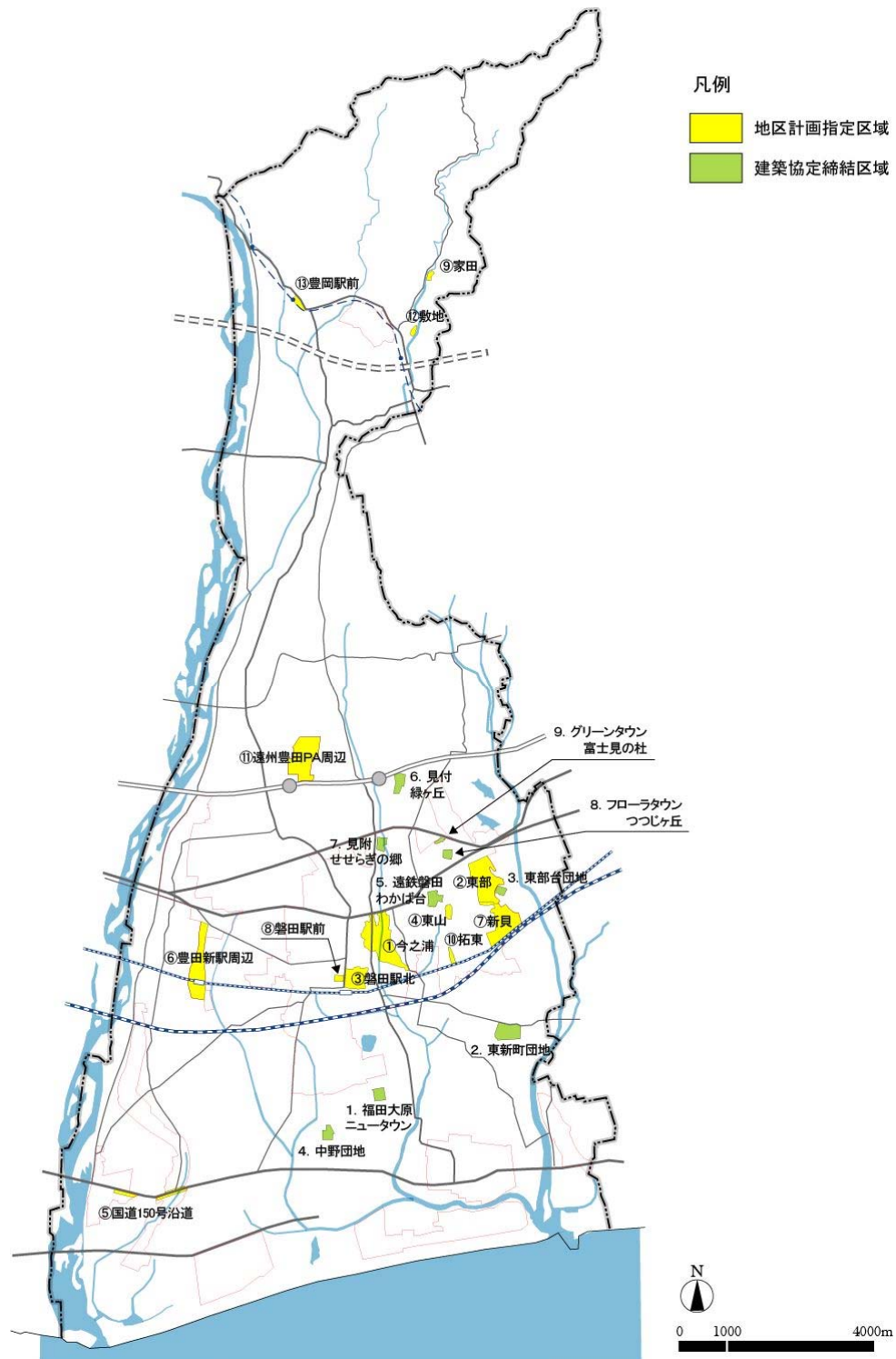
⑩磐田市まち美化パートナー制度



まち美化パートナー制度(葦間公園の清掃)

(3) 磐田市の景観誘導施策

地区計画	<ul style="list-style-type: none"> ● 良好な住環境や工業地環境、美しいまちなみ形成等を目的とする。【13 地区】 ①今之浦地区(H 元)、②東部地区(H6)、③磐田駅北地区(H7)、④東山地区(H7)、⑤国道 150 号沿道地区(H7)、⑥豊田新駅周辺地区(H7)、⑦新貝地区(H9)、⑧磐田駅前地区(H10)、⑨家田地区(H14)、⑩拓東地区(H16)、⑪遠州豊田PA周辺地区(H19)、⑫敷地地区(H19)、⑬豊岡駅前地区(H19)
建築協定	<ul style="list-style-type: none"> ● 良好な住環境の形成、快適で美しいまちづくり等を目的とする。【9 ヶ所】 1. 福田大原ニュータウン(S56)、2. 東新町団地(S61)、3. 東部台団地(S61)、4. 中野団地(S62)、5. 遠鉄磐田わかば台(S63)、6. 見付緑ヶ丘地区(S63)、7. 見附せせらぎの郷(H12)、8. フローラタウンつつじヶ丘(H12)、9. グリーントウン富士見の杜(H20)



(4)景観形成に関連する計画等

①磐田市総合計画

計画の目的等		本計画は、新磐田市の行政運営の指針となるものであり、本市のめざす将来像とそれに向けた長期的な展望を示す。	
策定年	平成 19 年 3 月 基本構想：平成 18 年 9 月議決	計画期間	基本構想：H19～28 年度 前期基本計画：H19～23 年度
将来像	光と風・水と緑 ひとが、まちが、いま輝きだす ～自然あふれ、歴史・文化薫るゆとりと活力のまち～		
基本理念	協働のまちづくりによる自治の実現 市民と行政の「協働」のもと、市民自らが、豊かで貴重な宝を発掘し、磨き、育み、活かし、輝かせ、地域間の「交流」と「連携」を深めつつ、地域の「自主」と「自立」を育て、「真の自治」の実現を目指す。		
基本目標・基本施策	環境にやさしいまちづくり (1)環境保全の推進 / (2)省資源・エネルギー対策の充実 / (3)環境教育の推進 / (4)生活環境の向上 / (5)循環型社会の推進 / (6)上下水道の整備 住んで良かったと思えるまちづくり (1)計画的な土地利用の推進 / (2)市街地整備の推進 / (3)道路網の整備 / (4)緑豊かなまちづくり / (5)住生活の向上 / (6)美しい街並みづくり / (7)公共交通機関の利用促進 / (8)地域情報化の推進 豊かな心を育み活躍できるまちづくり (1)子どもの教育の充実 / (2)健全な青少年育成 / (3)学習機会の充実 / (4)文化の振興と歴史遺産の整備、活用 / (5)スポーツの振興 / (6)多文化共生と国際交流の推進 / (7)男女共同参画の推進 安全・安心なまちづくり (1)地域防災対策・体制の強化 / (2)地域防犯体制の強化 / (3)交通安全対策の充実 / (4)消防・救急体制の充実 / (5)治山・治水対策の充実 / (6)消費生活対策の充実 やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり (1)地域福祉システムの充実 / (2)子育て環境の整備 / (3)高齢者福祉の推進 / (4)障害者福祉の推進 / (5)健康づくりの推進 / (6)地域医療体制の充実 交流と活力のあるまちづくり (1)農林水産業の振興 / (2)商業・サービス業の振興 / (3)工業・新産業の育成、振興 / (4)観光・交流の振興 / (5)雇用環境の充実		
施策	-(6) 美しい街並みづくり 景観に関する基本施策を抜粋 景観形成ガイドプランの策定、 景観計画の策定、 景観形成モデル事業の推進 (目標指標) 景観づくりに関する満足度；現状 45% H23 50% (施策の展開シナリオ) ・早期に景観形成に関する基本方針を定め、市民と行政の合意形成により磐田らしいまちづくりを進める。なかでも、モデルケースである見付地区を対象として、景観法に基づく景観計画を策定した後、全市を対象とした景観形成に関するガイドプランの作成、あるいは重点地区における景観計画を策定する。 (協働の考え方) ・景観計画の策定にあたっては、自治会、商店会、まちづくり団体などで構成されるまちづくり協議会等に諮りながら合意形成を図る。 (市民と行政の役割) ・市民は、主体的かつ積極的に景観づくりに関する活動等に取り組み、連帯感の向上に努める。 ・行政は、景観に関する情報を積極的に発信し、市民の景観に係る意識の醸成に努める。景観形成方策の各段階において、市民参画を積極的に導入するとともに、地域の意向を十分に反映できるように支援する。		

②磐田市都市計画マスタープラン

調査計画名	磐田市都市計画マスタープラン														
計画の背景・性格等	磐田市の都市計画の総合的・長期的な将来像を明らかにするとともに、その実現に向けた基本方針を定める。														
策定年	平成 20 年 2 月	計画期間	基本構想 H20～38 年度												
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="268 439 427 510">都市づくりの 基本理念</td><td colspan="3" data-bbox="427 439 1337 510">自然と共生し文化の薫る 生活快適都市 磐田</td></tr> <tr> <td data-bbox="268 510 427 1099">都市づくりの 目標</td><td colspan="3" data-bbox="427 510 1337 1099"> <u>安全で安心・快適な住みよい生活環境づくり</u> ・緑豊かで、ゆとりある居住環境の保全・創出、災害に強いまちづくり ・幅広い世代が、ともに生活できる居住環境づくり <u>豊かな緑・水の環境を活かし、環境と共生する都市づくり</u> ・骨格的な緑地・水辺の保全、動植物の生態系の保全・回復 ・身近な自然に気軽に触れ、楽しむことができる環境づくり ・ごみ削減や省エネ・省資源による環境に優しい都市づくり <u>地域の歴史・文化が薫る都市づくり</u> ・地域の歴史・文化的資源を活かした風格と落ち着きのある街並みの形成 ・地域の個性を大切にした施設整備 <u>みんなが集い・交流を進める都市づくり</u> ・みんなが触れ合い、個性や可能性を発揮する活気ある都市づくり ・住民やNPO等の主体的な取り組みを促進し、地域の活力と個性の創出や発展 <u>新たな活力にみちた都市づくり</u> ・交通の利便性など、優れた立地特性を活かした、より高度な産業集積や新たな産業の展開 </td></tr> <tr> <td data-bbox="268 1099 427 1926">分野別方針</td><td colspan="3" data-bbox="427 1099 1337 1926"> <u>美しくうまいある都市づくりの方針</u> 景観に関する方針を抜粋 （目標） ・都市の個性ある魅力や賑わい、活力を高めていくため、地域特性を活かした美しさやうまいの感じられる景観のある都市づくりを目指す。 ・市民のまちづくりへの参加意識を高めながら、市民・地域と行政が一体となった景観づくりを目指す。 （整備方針） <u>魅力ある都市の顔づくり</u> ・まちの玄関口としてふさわしい景観づくり【JR磐田駅周辺、東名磐田IC、遠州豊田PA周辺、JR豊田町駅周辺、JR磐田新駅周辺等】 ・その他の都市拠点での景観形成 ・地域の歴史や個性を活かした特色ある街並みの形成【見付地区、池田地区、掛塚地区】 ・道路や公園等の公共施設における周辺景観への配慮 <u>豊かな自然景観の形成</u> ・まちの自然環境の骨格を形成している緑地景観の保全【磐田原台地の斜面緑地、北部山間緑地、天竜川、太田川等の河川、遠州灘海岸、磐田原台地の茶園、低地部の田園など】 <u>美しく調和のとれた街並みの形成</u> ・民間の開発や建築行為、屋外広告物に対する景観誘導 <u>市民・地域が主体となった景観づくり</u> ・景観形成に対する市民意識の高揚、景観まちづくり担い手の育成 ・景観づくりのための協定制度や表彰制度等の仕組みづくりを検討 </td></tr> </table>				都市づくりの 基本理念	自然と共生し文化の薫る 生活快適都市 磐田			都市づくりの 目標	<u>安全で安心・快適な住みよい生活環境づくり</u> ・緑豊かで、ゆとりある居住環境の保全・創出、災害に強いまちづくり ・幅広い世代が、ともに生活できる居住環境づくり <u>豊かな緑・水の環境を活かし、環境と共生する都市づくり</u> ・骨格的な緑地・水辺の保全、動植物の生態系の保全・回復 ・身近な自然に気軽に触れ、楽しむことができる環境づくり ・ごみ削減や省エネ・省資源による環境に優しい都市づくり <u>地域の歴史・文化が薫る都市づくり</u> ・地域の歴史・文化的資源を活かした風格と落ち着きのある街並みの形成 ・地域の個性を大切にした施設整備 <u>みんなが集い・交流を進める都市づくり</u> ・みんなが触れ合い、個性や可能性を発揮する活気ある都市づくり ・住民やNPO等の主体的な取り組みを促進し、地域の活力と個性の創出や発展 <u>新たな活力にみちた都市づくり</u> ・交通の利便性など、優れた立地特性を活かした、より高度な産業集積や新たな産業の展開			分野別方針	<u>美しくうまいある都市づくりの方針</u> 景観に関する方針を抜粋 （目標） ・都市の個性ある魅力や賑わい、活力を高めていくため、地域特性を活かした美しさやうまいの感じられる景観のある都市づくりを目指す。 ・市民のまちづくりへの参加意識を高めながら、市民・地域と行政が一体となった景観づくりを目指す。 （整備方針） <u>魅力ある都市の顔づくり</u> ・まちの玄関口としてふさわしい景観づくり【JR磐田駅周辺、東名磐田IC、遠州豊田PA周辺、JR豊田町駅周辺、JR磐田新駅周辺等】 ・その他の都市拠点での景観形成 ・地域の歴史や個性を活かした特色ある街並みの形成【見付地区、池田地区、掛塚地区】 ・道路や公園等の公共施設における周辺景観への配慮 <u>豊かな自然景観の形成</u> ・まちの自然環境の骨格を形成している緑地景観の保全【磐田原台地の斜面緑地、北部山間緑地、天竜川、太田川等の河川、遠州灘海岸、磐田原台地の茶園、低地部の田園など】 <u>美しく調和のとれた街並みの形成</u> ・民間の開発や建築行為、屋外広告物に対する景観誘導 <u>市民・地域が主体となった景観づくり</u> ・景観形成に対する市民意識の高揚、景観まちづくり担い手の育成 ・景観づくりのための協定制度や表彰制度等の仕組みづくりを検討		
都市づくりの 基本理念	自然と共生し文化の薫る 生活快適都市 磐田														
都市づくりの 目標	<u>安全で安心・快適な住みよい生活環境づくり</u> ・緑豊かで、ゆとりある居住環境の保全・創出、災害に強いまちづくり ・幅広い世代が、ともに生活できる居住環境づくり <u>豊かな緑・水の環境を活かし、環境と共生する都市づくり</u> ・骨格的な緑地・水辺の保全、動植物の生態系の保全・回復 ・身近な自然に気軽に触れ、楽しむことができる環境づくり ・ごみ削減や省エネ・省資源による環境に優しい都市づくり <u>地域の歴史・文化が薫る都市づくり</u> ・地域の歴史・文化的資源を活かした風格と落ち着きのある街並みの形成 ・地域の個性を大切にした施設整備 <u>みんなが集い・交流を進める都市づくり</u> ・みんなが触れ合い、個性や可能性を発揮する活気ある都市づくり ・住民やNPO等の主体的な取り組みを促進し、地域の活力と個性の創出や発展 <u>新たな活力にみちた都市づくり</u> ・交通の利便性など、優れた立地特性を活かした、より高度な産業集積や新たな産業の展開														
分野別方針	<u>美しくうまいある都市づくりの方針</u> 景観に関する方針を抜粋 （目標） ・都市の個性ある魅力や賑わい、活力を高めていくため、地域特性を活かした美しさやうまいの感じられる景観のある都市づくりを目指す。 ・市民のまちづくりへの参加意識を高めながら、市民・地域と行政が一体となった景観づくりを目指す。 （整備方針） <u>魅力ある都市の顔づくり</u> ・まちの玄関口としてふさわしい景観づくり【JR磐田駅周辺、東名磐田IC、遠州豊田PA周辺、JR豊田町駅周辺、JR磐田新駅周辺等】 ・その他の都市拠点での景観形成 ・地域の歴史や個性を活かした特色ある街並みの形成【見付地区、池田地区、掛塚地区】 ・道路や公園等の公共施設における周辺景観への配慮 <u>豊かな自然景観の形成</u> ・まちの自然環境の骨格を形成している緑地景観の保全【磐田原台地の斜面緑地、北部山間緑地、天竜川、太田川等の河川、遠州灘海岸、磐田原台地の茶園、低地部の田園など】 <u>美しく調和のとれた街並みの形成</u> ・民間の開発や建築行為、屋外広告物に対する景観誘導 <u>市民・地域が主体となった景観づくり</u> ・景観形成に対する市民意識の高揚、景観まちづくり担い手の育成 ・景観づくりのための協定制度や表彰制度等の仕組みづくりを検討														

③磐田市緑の基本計画

調査計画名		磐田市緑の基本計画	
計画の背景・性格等		緑の将来あるべき姿を実現するために、どのように緑を守り、育てるかを明らかにし、市民・事業者・行政が一体となって、緑豊かでうるおいのあるまちづくりを進めるための「指針」を示す。	
策定年	平成 20 年 3 月	計画期間	H20 ～ 38 年度
基本理念		協働のまちづくりによる緑の豊かさが実感できる都市の創造	
緑の将来像		緑豊かで魅力的なまち“いわた”	
基本方針 施策の方向		<u>後世に残すべき緑の保全</u> ○樹林地の保全と活用(豊岡丘陵地・磐田原台地斜面緑地の保全と活用／市街地近郊の緑地の保全と活用) ○水辺の保全と活用(遠州灘海岸の保全と活用／河川環境の保全と活用) ○農地の保全と活用(優良農地の保全／農地の有効活用) <u>市民が身近に親しめる緑の保全・創出</u> ○都市公園等の整備(身近な都市公園等の整備／特色ある都市公園等の整備) ○魅力ある公園づくり(公園機能の充実／協働による公園づくり) <u>磐田市の魅力と品格を高める緑の保全・創出</u> ○まちの緑づくり(公共施設の緑化の推進／道路緑化の推進／民有地の緑化の推進) ○地域資源の活用(地域資源を活用した緑地の保全・整備) <u>緑のネットワークづくり</u> ○歩行者ネットワークの形成(日常的な歩行者ネットワークの形成／レクリエーション・ネットワークの形成) ○生態系に配慮したネットワークの形成(生態的連続性の確保) <u>協働による緑地の保全・創出</u> ○協働に向けたしくみづくり(緑化推進のための体制づくり／緑づくりへの支援) ○緑を守り育てる人づくり・意識づくり(緑を守り育てる人材の育成／緑化イベント等の開催／緑に関する積極的なPR)	
地域別の施策	北部地域	(緑の方針) 里地里山を活かした緑のふるさとづくり (施策展開の方針) ○豊岡丘陵地、磐田原台地斜面樹林地の保全と活用／○人と自然とのふれあいの場の整備と活用／○河川環境の保全と活用／○優良農地の保全／○里地里山の景観の保全／○歴史資源の保全・活用／○都市公園等の機能充実	
	中央地域	(緑の方針) 歴史・文化を育む緑豊かなまちづくり (施策展開の方針) ○市街地の背景を構成する緑の保全と活用／○河川環境の保全と活用／○優良農地の保全／○人と自然とのふれあいの場の整備／○歴史資源の保全・活用／○住宅・事業所などの緑化の推進／○都市公園等の機能の充実	
	南部地域	(緑の方針) 海と川と田園が調和したまちづくり (施策展開の方針) ○遠州灘海岸の保全と活用／○河川環境の保全と活用／○人と自然とのふれあいの場の整備／○田園景観の保全・継承／○住宅・事業所などの緑化の推進／○特色ある都市公園等の整備／○都市公園等の機能の充実	

④磐田市環境基本計画

調査計画名	磐田市環境基本計画														
計画の背景・性格等	平成 18 年 4 月 1 日に施行された“ 磐田市環境基本条例第 7 条 ”に基づいて策定するものであり、本市の目指すべき望ましい環境像を設定するとともに、それを実現するための環境目標や取り組みの方向などを明らかにする。														
策定年	平成 20 年 3 月	計画期間	基本構想 H20 ～ 29 年度												
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="269 461 453 533">望ましい環境像</td><td colspan="3" data-bbox="453 461 1339 533">ともに学び ともに創る 水と緑の彩るまち いわた</td></tr> <tr> <td data-bbox="269 533 453 1155">環境目標 取り組みの方向</td><td colspan="3" data-bbox="453 533 1339 1155"> <p>(1)自然環境の保全 ①森林の保全と適正管理／②遠州灘海岸の良好な環境の保全／③河川・農地の保全／④野生動植物の保護・管理及び生息生育地の保全</p> <p>(2)快適な環境の創造 ①公園緑地等の整備・管理／②人と自然とのふれあい活動の場の創出・活用／景観の保全・創造／④歴史文化資源の保全・活用</p> <p>(3)健康の保護及び生活環境の保全 ①環境保全のための監視及び対策／②大気汚染・悪臭対策の推進／③騒音・振動対策の推進／④水質汚濁対策の推進／⑤有害化学物質対策の推進</p> <p>(4)循環型社会の実現 ①ごみの減量・資源化の推進／②ごみの適正処理／③不法投棄対策・環境美化の推進／④水資源の有効活用／⑤省エネルギーの推進／⑥新エネルギーの普及拡大／⑦グリーン購入・地産地消の推進</p> <p>(5)地球環境の保全 ①地球温暖化対策の推進／②オゾン層の保護対策の推進／③酸性雨対策の推進</p> <p>(6)環境教育・環境保全活動の推進 ①環境教育・環境学習の推進／②環境保全活動の推進／③環境情報の提供・活用／④各主体の協働による環境まちづくり</p> </td></tr> <tr> <td data-bbox="269 1155 453 1991">取り組み項目 取り組み内容</td><td colspan="3" data-bbox="453 1155 1339 1991"> <p>(2)- 景観の保全・創造</p> <p>(取り組み項目) ○景観形成の総合的推進 ○自然景観・農村景観の保全 ○都市景観の創造・改善</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>(市の取り組み項目) ○景観形成ガイドプランの策定、景観計画区域での事業の推進／○遊休農地などの有効利用／○用水路跡地への遊歩道の整備に対する協力／○見付地区等における歴史的建築物の修理等に対する補助／○歴史的建造物、小路の整備、電線地中化等による歴史景観まちづくり／○電線類地中化、沿道緑化などによる街路の景観向上／○公共サイン計画の策定／○県屋外広告物条例に基づいた広告物の規制</p> <p>(市民の取り組み項目) ○景観形成ガイドプランの策定、景観計画区域での事業推進への協力／○敷地内の巨樹や古木、屋敷林、植囲いなどの保全／○住宅の新築、改築の時は、色彩や形状など景観に配慮したデザインとする</p> <p>(事業者の取り組み項目) ○景観形成ガイドプランの策定、景観計画区域での事業推進への協力／○敷地内の巨樹や古木などの保全／○荒廃農地の拡大防止、農地の適正な保全・管理／○休耕田などを活用した景観作物の栽培／○屋外広告物条例の遵守／○工場や店舗などの新設・改築の時は、色彩や形状など景観に配慮したデザインとする</p> </td></tr> </table>				望ましい環境像	ともに学び ともに創る 水と緑の彩るまち いわた			環境目標 取り組みの方向	<p>(1)自然環境の保全 ①森林の保全と適正管理／②遠州灘海岸の良好な環境の保全／③河川・農地の保全／④野生動植物の保護・管理及び生息生育地の保全</p> <p>(2)快適な環境の創造 ①公園緑地等の整備・管理／②人と自然とのふれあい活動の場の創出・活用／景観の保全・創造／④歴史文化資源の保全・活用</p> <p>(3)健康の保護及び生活環境の保全 ①環境保全のための監視及び対策／②大気汚染・悪臭対策の推進／③騒音・振動対策の推進／④水質汚濁対策の推進／⑤有害化学物質対策の推進</p> <p>(4)循環型社会の実現 ①ごみの減量・資源化の推進／②ごみの適正処理／③不法投棄対策・環境美化の推進／④水資源の有効活用／⑤省エネルギーの推進／⑥新エネルギーの普及拡大／⑦グリーン購入・地産地消の推進</p> <p>(5)地球環境の保全 ①地球温暖化対策の推進／②オゾン層の保護対策の推進／③酸性雨対策の推進</p> <p>(6)環境教育・環境保全活動の推進 ①環境教育・環境学習の推進／②環境保全活動の推進／③環境情報の提供・活用／④各主体の協働による環境まちづくり</p>			取り組み項目 取り組み内容	<p>(2)- 景観の保全・創造</p> <p>(取り組み項目) ○景観形成の総合的推進 ○自然景観・農村景観の保全 ○都市景観の創造・改善</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>(市の取り組み項目) ○景観形成ガイドプランの策定、景観計画区域での事業の推進／○遊休農地などの有効利用／○用水路跡地への遊歩道の整備に対する協力／○見付地区等における歴史的建築物の修理等に対する補助／○歴史的建造物、小路の整備、電線地中化等による歴史景観まちづくり／○電線類地中化、沿道緑化などによる街路の景観向上／○公共サイン計画の策定／○県屋外広告物条例に基づいた広告物の規制</p> <p>(市民の取り組み項目) ○景観形成ガイドプランの策定、景観計画区域での事業推進への協力／○敷地内の巨樹や古木、屋敷林、植囲いなどの保全／○住宅の新築、改築の時は、色彩や形状など景観に配慮したデザインとする</p> <p>(事業者の取り組み項目) ○景観形成ガイドプランの策定、景観計画区域での事業推進への協力／○敷地内の巨樹や古木などの保全／○荒廃農地の拡大防止、農地の適正な保全・管理／○休耕田などを活用した景観作物の栽培／○屋外広告物条例の遵守／○工場や店舗などの新設・改築の時は、色彩や形状など景観に配慮したデザインとする</p>		
望ましい環境像	ともに学び ともに創る 水と緑の彩るまち いわた														
環境目標 取り組みの方向	<p>(1)自然環境の保全 ①森林の保全と適正管理／②遠州灘海岸の良好な環境の保全／③河川・農地の保全／④野生動植物の保護・管理及び生息生育地の保全</p> <p>(2)快適な環境の創造 ①公園緑地等の整備・管理／②人と自然とのふれあい活動の場の創出・活用／景観の保全・創造／④歴史文化資源の保全・活用</p> <p>(3)健康の保護及び生活環境の保全 ①環境保全のための監視及び対策／②大気汚染・悪臭対策の推進／③騒音・振動対策の推進／④水質汚濁対策の推進／⑤有害化学物質対策の推進</p> <p>(4)循環型社会の実現 ①ごみの減量・資源化の推進／②ごみの適正処理／③不法投棄対策・環境美化の推進／④水資源の有効活用／⑤省エネルギーの推進／⑥新エネルギーの普及拡大／⑦グリーン購入・地産地消の推進</p> <p>(5)地球環境の保全 ①地球温暖化対策の推進／②オゾン層の保護対策の推進／③酸性雨対策の推進</p> <p>(6)環境教育・環境保全活動の推進 ①環境教育・環境学習の推進／②環境保全活動の推進／③環境情報の提供・活用／④各主体の協働による環境まちづくり</p>														
取り組み項目 取り組み内容	<p>(2)- 景観の保全・創造</p> <p>(取り組み項目) ○景観形成の総合的推進 ○自然景観・農村景観の保全 ○都市景観の創造・改善</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>(市の取り組み項目) ○景観形成ガイドプランの策定、景観計画区域での事業の推進／○遊休農地などの有効利用／○用水路跡地への遊歩道の整備に対する協力／○見付地区等における歴史的建築物の修理等に対する補助／○歴史的建造物、小路の整備、電線地中化等による歴史景観まちづくり／○電線類地中化、沿道緑化などによる街路の景観向上／○公共サイン計画の策定／○県屋外広告物条例に基づいた広告物の規制</p> <p>(市民の取り組み項目) ○景観形成ガイドプランの策定、景観計画区域での事業推進への協力／○敷地内の巨樹や古木、屋敷林、植囲いなどの保全／○住宅の新築、改築の時は、色彩や形状など景観に配慮したデザインとする</p> <p>(事業者の取り組み項目) ○景観形成ガイドプランの策定、景観計画区域での事業推進への協力／○敷地内の巨樹や古木などの保全／○荒廃農地の拡大防止、農地の適正な保全・管理／○休耕田などを活用した景観作物の栽培／○屋外広告物条例の遵守／○工場や店舗などの新設・改築の時は、色彩や形状など景観に配慮したデザインとする</p>														

⑤新静岡県景観形成ガイドプラン

計画の目的等		長い時間かけて良好な景観を形成していくために、県土全体の指針と主要方策などを体系的に示す。 住民、事業者、市町、県の役割を明らかにし、景観形成に協働して取り組むための指針を示す。 市町が景観法を踏まえて景観形成に取り組む際の参考となるイメージなどを示す。	
策定年	平成 18 年 3 月	計画期間	
目標	あおぐ富士 あふれる緑 あおい海 次世代に残す 静岡の景		
景観形成の指針	<u>良好な景観の基礎を整える</u> ○ごみのない景観づくり／○放置自転車などや廃船対策の推進／○屋外広告物の整理など／ ○防災施設整備に伴う景観への配慮／○ユニバーサルデザインの景観の形成		
	<u>豊かな水と緑の景観を育む</u> ○山地景観、森林景観の保全と眺望の確保／○里山景観の保全と向上／○河川景観の保全と創出／○農山村景観の保全と向上／○漁村景観の保全と修復		
地域別の景観形成指針（志太榛原・中東遠地域）	<u>個性あるまちの景観を創出する</u> ○良好な中心市街地景観の形成／○周辺と調和した工業地景観の形成／○くつろぎの温泉地景観の形成／○落ち着いた住宅地景観の保全／○周辺と調和した美しい公共施設の景観の形成		
	<u>静岡県らしい景観をつくり、アイデンティティを高める</u> ○富士山や南アルプスなどの眺望の保全・活用／○駿河湾や浜名湖など雄大な水辺景観の保全・活用／○静岡の特産物を生産する茶園などの景観の保全・活用／○国土軸沿線や空港周辺の魅力的な景観の形成／○特徴的な地形を活かした景観の形成／○地場産材などを活かした景観の形成		
<div>〈図：景観形成指針〉</div> <div></div>			

地域区分	特別規制地域		普通規制地域	
	第 1 種	第 2 種	第 1 種	第 2 種
区 域 の 性 格	原則として、広告物の表示を禁止している地域。(許可を受けて自家広告物又は案内板を設置することができる。)		原則として、広告物を表示する場合には許可が必要な地域。	
指 定 の 考 え 方	第 2 種特別規制地域は、第 1 種特別規制地域以外の特別規制地域の区域。		第 1 種普通規制地域は、第 2 種普通規制地域以外の普通規制地域の区域。	
場 所	第 1 種及び第 2 種低層 住居専用地域 県指定の自然環境保全 地域 国及び県指定の文化財 (史跡及び天然記念物) の周囲 50m以内	東名高速道路及び東海 道新幹線の全区間、道 路及び鉄道のうち、知 事が指定する区間 道路から 1,000m以内の 地域のうち知事が指定 する区域。 都市公園、官公署、学 校、図書館、公民館、体 育館、病院及び公衆便 所の敷地内	道路及び鉄道のうち、 知事が指定する区間 道 路 及 び 鉄 道 か ら 1,500m以内の地域のう ち知事が指定する区域 第 2 種普通規制地域以 外の用途地域	用途地域の商業地域、 容積率 300%以上の近 隣商業地域

地域区分	特別規制地域		普通規制地域	
	第 1 種	第 2 種	第 1 種	第 2 種
広告塔 (野立て)	地上 10m以下。 表示面積は 1 面 30 m ² 以内。 特別規制地域は自家広告物に限る。	地上 15m以下。		
広告板 (野立て)	地上 5m以下。 表示面積は 30 m ² 以内。 特別規制地域は自家広告物に限る。			
案内板 (野立て)	高さは地上 5m以下。 表示面積は 1 面 3 m ² 以内、全面 6 m ² 以内。 5者以上協同で表示する場合は、1 面 10 m ² 以内、 全面 20 m ² 以内。	高さは地上 5m以下。 表示面積は 1 面 5 m ² 以 内、全面 10 m ² 以内。 5者以上協同で表示する 場合は、1 面 15 m ² 以内、 全面 30 m ² 以内。	高さは地上 5m以下。 表示面積は全面 30 m ² 以 内。	
屋 上 広 告	高さは建築物の高さの 2/3 以下かつ 5m以下。	高さは建築物の高さの 2/3 以下かつ 10m以下。	高さは建築物の高さの 2/3 以下かつ 15m以下。 特別規制地域は自家広告物に限る。	
壁 面 突 出 広告	出幅は 1.5m以下。 表示面積は 1 面 20 m ² 以内。 下端は、歩車道の区別がある場合は地上 2.5m以上、歩車道の区別がない場合は地上 4.7m以上。 上端は壁面を越えない。 特別規制地域は自家広告物に限る。			出幅は 1.5m以下。 ※面積規定はなし
壁 面 利 用 広告、 塀 利 用 広告	1 壁面の面積<300 m ² の場合、表示面積はその壁面積の 1/5 以内。(ただし、 壁面積の 1/5<15 m ² の場合は 15 m ² 以内) 1 壁面の面積 300 m ² の場合、表示面積はその壁面積の 1/10 以内。(ただし、 壁面積の 1/10<60 m ² の場合は 60 m ² 以内) 壁面の端、塀の上端及び両端から突き出さないこと。窓その他の開口部を覆わないこと。 特別規制地域は自家広告物に限る。			1 壁面の表示面積はその 壁面積の 1/5 以内。 (ただし、壁面積の 1/5 <15 m ² の場合は 15 m ² 以 内)
アーケード利用広告			縦 0.4m以下、横 1.35m以下、幅 0.3m以下。同一街区 区内においては同一規格であること。 下端は 2.5m以上。	
アドバルーン	縦 20m以下、横 1.5m以下。ロープの長さは取付箇所から 50m以下。			

⑦磐田市都市景観形成ガイドプラン(旧磐田市)

計画の目的等		磐田市を美しくうるおいある都市とするために、景観的な観点に基づく基本的な計画を示す。													
策定年	平成 4 年 3 月	計画期間													
基本コンセプト	<div>緑に囲まれた千年景観都市 ―磐田</div> <div><div>千年の歴史文化を景観として顕在化する</div><div>21 世紀にむけたまちの顔づくりを推進する</div><div>トンボを育む緑園景観を継承・育成する</div></div>														
	1.千年の歴史文化を景観として顕在化する														
	<table><tr><th>景観形成方針</th><th>施策の方向</th></tr><tr><td>古代・中世の景観の顕在化</td><td>国分寺時代（奈良時代）の景観の顕在化と官公庁施設地区の景観形成 / 国分寺フェスティバル等、国分寺にちなむイメージアップ活動の推進 / “あきつしま”の原風景の保全・継承 / 古墳やその周辺緑地の保全とネットワーク化</td></tr><tr><td>江戸期の宿場町の景観の継承</td><td>見附宿の景観の継承と歴史的雰囲気への向上 / 旧東海道筋の修景とルートの明示 / 姫街道筋の修景と歴史的雰囲気への保全・継承</td></tr><tr><td>明治の景観の保全とイメージアップ</td><td>旧見付学校、磐田文庫の保全とアプローチ等周囲の修景 / 明治期の歴史的イメージのデザイン等への活用</td></tr><tr><td>歴史文化的景観要素の保全・修景とネットワーク化</td><td>駅前の大クスの保全とシンボル樹としての活用 / 主な寺社、文化財等の保全と周囲の修景 / 歴史的祭り・イベントの開催地における歴史的雰囲気への向上 / 歴史の散歩道の整備、設定 / 秋葉道筋の修景とルートの明示</td></tr></table>			景観形成方針	施策の方向	古代・中世の景観の顕在化	国分寺時代（奈良時代）の景観の顕在化と官公庁施設地区の景観形成 / 国分寺フェスティバル等、国分寺にちなむイメージアップ活動の推進 / “あきつしま”の原風景の保全・継承 / 古墳やその周辺緑地の保全とネットワーク化	江戸期の宿場町の景観の継承	見附宿の景観の継承と歴史的雰囲気への向上 / 旧東海道筋の修景とルートの明示 / 姫街道筋の修景と歴史的雰囲気への保全・継承	明治の景観の保全とイメージアップ	旧見付学校、磐田文庫の保全とアプローチ等周囲の修景 / 明治期の歴史的イメージのデザイン等への活用	歴史文化的景観要素の保全・修景とネットワーク化	駅前の大クスの保全とシンボル樹としての活用 / 主な寺社、文化財等の保全と周囲の修景 / 歴史的祭り・イベントの開催地における歴史的雰囲気への向上 / 歴史の散歩道の整備、設定 / 秋葉道筋の修景とルートの明示		
	景観形成方針	施策の方向													
古代・中世の景観の顕在化	国分寺時代（奈良時代）の景観の顕在化と官公庁施設地区の景観形成 / 国分寺フェスティバル等、国分寺にちなむイメージアップ活動の推進 / “あきつしま”の原風景の保全・継承 / 古墳やその周辺緑地の保全とネットワーク化														
江戸期の宿場町の景観の継承	見附宿の景観の継承と歴史的雰囲気への向上 / 旧東海道筋の修景とルートの明示 / 姫街道筋の修景と歴史的雰囲気への保全・継承														
明治の景観の保全とイメージアップ	旧見付学校、磐田文庫の保全とアプローチ等周囲の修景 / 明治期の歴史的イメージのデザイン等への活用														
歴史文化的景観要素の保全・修景とネットワーク化	駅前の大クスの保全とシンボル樹としての活用 / 主な寺社、文化財等の保全と周囲の修景 / 歴史的祭り・イベントの開催地における歴史的雰囲気への向上 / 歴史の散歩道の整備、設定 / 秋葉道筋の修景とルートの明示														
2.21 世紀に向けたまちの顔づくりを推進する															
分野別景観形成方針	<table><tr><th>景観形成方針</th><th>施策の方向</th></tr><tr><td>磐田駅周辺の市街地整備における景観コントロール</td><td>磐田らしい駅舎及び駅前広場の整備 / 駅前通り商店街における、賑わいある景観形成の推進 / 中高層建築物の景観コントロール / 駅南地区のイメージアップの推進</td></tr><tr><td>ハイテク・タウンのイメージアップ</td><td>ハイテク・タウンの拠点景観の形成 / 東部台地線の沿道修景 / その他の工業地域の修景 / 企業イメージの磐田における顕在化</td></tr><tr><td>若者が集まる拠点の形成</td><td>磐田駅前整備における拠点の形成 / 今之浦地区等新興市街地における拠点の形成 / JR 新駅予定地周辺地区における拠点施設の整備推進と周辺の修景 / 大池周辺地区における、賑わいある景観形成の推進</td></tr><tr><td>新しい都市軸景観の形成</td><td>都市計画道路中央幹線と沿道修景 / 国道 1 号と沿道修景 / その他の幹線道路の修景 / 今之浦川等の環境整備の推進</td></tr><tr><td>IC 周辺地区の景観形成</td><td>IC 整備事業における景観形成 / 周辺地区の宅地開発等における景観コントロール</td></tr></table>			景観形成方針	施策の方向	磐田駅周辺の市街地整備における景観コントロール	磐田らしい駅舎及び駅前広場の整備 / 駅前通り商店街における、賑わいある景観形成の推進 / 中高層建築物の景観コントロール / 駅南地区のイメージアップの推進	ハイテク・タウンのイメージアップ	ハイテク・タウンの拠点景観の形成 / 東部台地線の沿道修景 / その他の工業地域の修景 / 企業イメージの磐田における顕在化	若者が集まる拠点の形成	磐田駅前整備における拠点の形成 / 今之浦地区等新興市街地における拠点の形成 / JR 新駅予定地周辺地区における拠点施設の整備推進と周辺の修景 / 大池周辺地区における、賑わいある景観形成の推進	新しい都市軸景観の形成	都市計画道路中央幹線と沿道修景 / 国道 1 号と沿道修景 / その他の幹線道路の修景 / 今之浦川等の環境整備の推進	IC 周辺地区の景観形成	IC 整備事業における景観形成 / 周辺地区の宅地開発等における景観コントロール
	景観形成方針	施策の方向													
	磐田駅周辺の市街地整備における景観コントロール	磐田らしい駅舎及び駅前広場の整備 / 駅前通り商店街における、賑わいある景観形成の推進 / 中高層建築物の景観コントロール / 駅南地区のイメージアップの推進													
	ハイテク・タウンのイメージアップ	ハイテク・タウンの拠点景観の形成 / 東部台地線の沿道修景 / その他の工業地域の修景 / 企業イメージの磐田における顕在化													
	若者が集まる拠点の形成	磐田駅前整備における拠点の形成 / 今之浦地区等新興市街地における拠点の形成 / JR 新駅予定地周辺地区における拠点施設の整備推進と周辺の修景 / 大池周辺地区における、賑わいある景観形成の推進													
	新しい都市軸景観の形成	都市計画道路中央幹線と沿道修景 / 国道 1 号と沿道修景 / その他の幹線道路の修景 / 今之浦川等の環境整備の推進													
IC 周辺地区の景観形成	IC 整備事業における景観形成 / 周辺地区の宅地開発等における景観コントロール														

分野別景観形成方針	<p>3. トンボを育む緑園景観を継承・育成する</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>景観形成方針</th><th>施策の方向</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンボのまちの拠点景観の保全</td><td>桶ヶ谷沼の生態系および自然景観の保全・復元 / 桶ヶ谷沼・鶴ヶ池周辺整備事業における景観形成の推進 / 桶ヶ谷沼周辺地域における市街化コントロール / 健全な生態系に基づく景観形成の推進</td></tr> <tr> <td>トンボのまちづくりの推進</td><td>トンボ池づくり、トンボ遊歩道の整備による“全市とんぼネットワーク”の形成 / トンボのモチーフの導入 / 公共ＣＩ事業の推進 / 市民活動への支援 / 小動物の生息空間の保全・創出</td></tr> <tr> <td>基本となる緑地景観の保全・修景</td><td>市街地や集落の背景となる斜面緑地の保全・修景 / 市街地内あるいは近接するまとまった樹林地の保全・活用 / ランドマークとなる大木や古木等の保全 / 主な河川の修景とイメージアップ</td></tr> <tr> <td>地域ごとに特長をもつ田園景観の保全・修景</td><td>磐田原台地の茶原景観の保全・修景 / 天竜川、太田川沿いの田園景観の保全・修景 / 南部の水田と楨囲いの集落景観の保全・修景</td></tr> <tr> <td>拠点となる公園・緑地の整備とネットワーク化</td><td>既存公園の整備充実と周囲の修景 / 地域性やテーマ性に配慮した新規公園整備の推進 / 地域住民による“手づくり公園”等の環境整備推進と支援 / 街路緑化事業の推進等による緑のネットワークの形成</td></tr> <tr> <td>風土特性を活かした緑が多い住宅地景観の形成</td><td>住宅地や公共施設周辺における楨囲いの景観形成の推進 / 地域の特性を活かした緑が多い住宅地景観の形成</td></tr> <tr> <td>眺望点の修景整備と景観コントロール</td><td>眺望スペース整備事業の推進 / 眺望スペースのネーミングの公募、眺望景観写真コンクール等ソフト事業の展開 / 良好な眺望景観確保に資する景観コントロール</td></tr> </tbody> </table>	景観形成方針	施策の方向	トンボのまちの拠点景観の保全	桶ヶ谷沼の生態系および自然景観の保全・復元 / 桶ヶ谷沼・鶴ヶ池周辺整備事業における景観形成の推進 / 桶ヶ谷沼周辺地域における市街化コントロール / 健全な生態系に基づく景観形成の推進	トンボのまちづくりの推進	トンボ池づくり、トンボ遊歩道の整備による“全市とんぼネットワーク”の形成 / トンボのモチーフの導入 / 公共ＣＩ事業の推進 / 市民活動への支援 / 小動物の生息空間の保全・創出	基本となる緑地景観の保全・修景	市街地や集落の背景となる斜面緑地の保全・修景 / 市街地内あるいは近接するまとまった樹林地の保全・活用 / ランドマークとなる大木や古木等の保全 / 主な河川の修景とイメージアップ	地域ごとに特長をもつ田園景観の保全・修景	磐田原台地の茶原景観の保全・修景 / 天竜川、太田川沿いの田園景観の保全・修景 / 南部の水田と楨囲いの集落景観の保全・修景	拠点となる公園・緑地の整備とネットワーク化	既存公園の整備充実と周囲の修景 / 地域性やテーマ性に配慮した新規公園整備の推進 / 地域住民による“手づくり公園”等の環境整備推進と支援 / 街路緑化事業の推進等による緑のネットワークの形成	風土特性を活かした緑が多い住宅地景観の形成	住宅地や公共施設周辺における楨囲いの景観形成の推進 / 地域の特性を活かした緑が多い住宅地景観の形成	眺望点の修景整備と景観コントロール	眺望スペース整備事業の推進 / 眺望スペースのネーミングの公募、眺望景観写真コンクール等ソフト事業の展開 / 良好な眺望景観確保に資する景観コントロール
景観形成方針	施策の方向																
トンボのまちの拠点景観の保全	桶ヶ谷沼の生態系および自然景観の保全・復元 / 桶ヶ谷沼・鶴ヶ池周辺整備事業における景観形成の推進 / 桶ヶ谷沼周辺地域における市街化コントロール / 健全な生態系に基づく景観形成の推進																
トンボのまちづくりの推進	トンボ池づくり、トンボ遊歩道の整備による“全市とんぼネットワーク”の形成 / トンボのモチーフの導入 / 公共ＣＩ事業の推進 / 市民活動への支援 / 小動物の生息空間の保全・創出																
基本となる緑地景観の保全・修景	市街地や集落の背景となる斜面緑地の保全・修景 / 市街地内あるいは近接するまとまった樹林地の保全・活用 / ランドマークとなる大木や古木等の保全 / 主な河川の修景とイメージアップ																
地域ごとに特長をもつ田園景観の保全・修景	磐田原台地の茶原景観の保全・修景 / 天竜川、太田川沿いの田園景観の保全・修景 / 南部の水田と楨囲いの集落景観の保全・修景																
拠点となる公園・緑地の整備とネットワーク化	既存公園の整備充実と周囲の修景 / 地域性やテーマ性に配慮した新規公園整備の推進 / 地域住民による“手づくり公園”等の環境整備推進と支援 / 街路緑化事業の推進等による緑のネットワークの形成																
風土特性を活かした緑が多い住宅地景観の形成	住宅地や公共施設周辺における楨囲いの景観形成の推進 / 地域の特性を活かした緑が多い住宅地景観の形成																
眺望点の修景整備と景観コントロール	眺望スペース整備事業の推進 / 眺望スペースのネーミングの公募、眺望景観写真コンクール等ソフト事業の展開 / 良好な眺望景観確保に資する景観コントロール																
地区景観形成計画（駅前地区）	<div data-bbox="359 1243 1173 1512"> <p>豊かさが体感できる駅前地区の景観形成 にぎわいある生活公園都心</p> <ul style="list-style-type: none"> 国分寺等の歴史・文化の象徴性を景観に表す にぎわいと楽しさを演出する ゆとりある空間を演出する 水と緑を取り入れた快適環境を創出する </div> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>整備内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>駅舎・自由通路</td><td>磐田にふさわしい駅舎をデザインする / 自由通路は利用者に開かれたギャラリー空間とする</td></tr> <tr> <td>北口広場</td><td>拡がりある空間構成とする / 大クスを活かした広場の修景 / 利便性の配慮</td></tr> <tr> <td>駅前通り</td><td>磐田駅天竜線整備における風格あるにぎわい軸の形成 / 沿道における高品位な商店街景観の形成 / にぎわい要素の導入</td></tr> <tr> <td>南口広場及び周辺地区</td><td>南口広場整備における駅南らしい顔づくり / 幹線道路の修景整備 / 駅広周辺街区の景観形成</td></tr> </tbody> </table>		整備内容	駅舎・自由通路	磐田にふさわしい駅舎をデザインする / 自由通路は利用者に開かれたギャラリー空間とする	北口広場	拡がりある空間構成とする / 大クスを活かした広場の修景 / 利便性の配慮	駅前通り	磐田駅天竜線整備における風格あるにぎわい軸の形成 / 沿道における高品位な商店街景観の形成 / にぎわい要素の導入	南口広場及び周辺地区	南口広場整備における駅南らしい顔づくり / 幹線道路の修景整備 / 駅広周辺街区の景観形成						
	整備内容																
駅舎・自由通路	磐田にふさわしい駅舎をデザインする / 自由通路は利用者に開かれたギャラリー空間とする																
北口広場	拡がりある空間構成とする / 大クスを活かした広場の修景 / 利便性の配慮																
駅前通り	磐田駅天竜線整備における風格あるにぎわい軸の形成 / 沿道における高品位な商店街景観の形成 / にぎわい要素の導入																
南口広場及び周辺地区	南口広場整備における駅南らしい顔づくり / 幹線道路の修景整備 / 駅広周辺街区の景観形成																

⑧竜洋町都市景観形成ガイドプラン(旧竜洋町)

計画の目的等		竜洋らしさを守り、生かすとともに、これらと調和した新しい竜洋の文化の創造、美しくうるおいのある都市環境の創造を目標として、都市景観の形成を総合的かつ計画的に進めるため、都市景観形成の基本的な考え方、方策についてまとめる。																												
策定年	平成 7 年 3 月	計画期間																												
基本理念／基本目標	<div>自然・ひと・町並みがあやなす緑園景観のまちづくり</div> <div><div>水と緑があふれるまち</div><div>生き生きとして活気に満ちたまち</div><div>風土性豊かなくらしのあるまち</div></div>																													
	<div>1.水と緑があふれるまち</div> <table><tr><td>景観形成方針</td><td>整備の方策・施策の方向</td></tr><tr><td>水と緑のネットワーク景観の形成</td><td>河川、排水路の水辺景観を演出する / 拠点となる緑地の保全と充実を図る / ランドマークとなる大木・古木の保全 / 都市軸となる主要道路の緑化を推進する / 水と緑のネットワークを進める。</td></tr><tr><td>水辺レクリエーションエリアの景観保全と活用</td><td>天竜川の親水性を高める / 海洋レクリエーション拠点として海洋公園の充実をめざす / 遠州灘海岸を保全する / 海辺へのアクセスを改善する。</td></tr></table> <div>2.生き生きとして活気に満ちたまち</div> <table><tr><td>景観形成方針</td><td>整備の方策・施策の方向</td></tr><tr><td>道路空間の充実と修景</td><td>都市計画道路の整備を促進する / 導入路となる道路の景観形成を図る / うるおいのある道路づくり</td></tr><tr><td>魅力ある商業地景観の形成</td><td>掛塚商店街の景観形成 / 駒場・金洗地区商店街の景観形成 / 国道 150 号沿道の商業施設立地について</td></tr><tr><td>活力を生む工業地景観の形成</td><td>住工隣接地区の景観形成 / テクノタウンを代表する工業地景観の形成</td></tr><tr><td>公共公益施設の景観向上</td><td>町民の広場として、親しみやすい公共施設周辺の景観をつくる / 学校建築の景観的向上 / 寺社等景観保全</td></tr><tr><td>まちや地区のシンボルづくり</td><td>天竜川をモチーフにした景観形成 / 町民活動への展開</td></tr></table> <div>3.風土性豊かなくらしのあるまち</div> <table><tr><td>景観形成方針</td><td>整備の方策・施策の方向</td></tr><tr><td>歴史的景観資源の保全と継承</td><td>水運に関わる歴史を顕在化し伝える / 歴史的環境になじむ周辺景観を形成する / 伝統的な祭りを景観に生かす / 旧街道の面影を保全する</td></tr><tr><td>住宅地景観の向上</td><td>生垣のある住宅地景観をつくる / 地区内道路の修景 / まちかど広場の整備</td></tr><tr><td>田園・集落地景観の保全</td><td>田園景観を保全する / 田園景観と調和した集落地景観を保全する</td></tr><tr><td>身近な景観をみんなで守り、つくる</td><td>身近な景観を守る / 身近な景観をつくる / 住宅各戸の緑化推進と住民活動を支援する / 景観づくりを考える</td></tr></table>			景観形成方針	整備の方策・施策の方向	水と緑のネットワーク景観の形成	河川、排水路の水辺景観を演出する / 拠点となる緑地の保全と充実を図る / ランドマークとなる大木・古木の保全 / 都市軸となる主要道路の緑化を推進する / 水と緑のネットワークを進める。	水辺レクリエーションエリアの景観保全と活用	天竜川の親水性を高める / 海洋レクリエーション拠点として海洋公園の充実をめざす / 遠州灘海岸を保全する / 海辺へのアクセスを改善する。	景観形成方針	整備の方策・施策の方向	道路空間の充実と修景	都市計画道路の整備を促進する / 導入路となる道路の景観形成を図る / うるおいのある道路づくり	魅力ある商業地景観の形成	掛塚商店街の景観形成 / 駒場・金洗地区商店街の景観形成 / 国道 150 号沿道の商業施設立地について	活力を生む工業地景観の形成	住工隣接地区の景観形成 / テクノタウンを代表する工業地景観の形成	公共公益施設の景観向上	町民の広場として、親しみやすい公共施設周辺の景観をつくる / 学校建築の景観的向上 / 寺社等景観保全	まちや地区のシンボルづくり	天竜川をモチーフにした景観形成 / 町民活動への展開	景観形成方針	整備の方策・施策の方向	歴史的景観資源の保全と継承	水運に関わる歴史を顕在化し伝える / 歴史的環境になじむ周辺景観を形成する / 伝統的な祭りを景観に生かす / 旧街道の面影を保全する	住宅地景観の向上	生垣のある住宅地景観をつくる / 地区内道路の修景 / まちかど広場の整備	田園・集落地景観の保全	田園景観を保全する / 田園景観と調和した集落地景観を保全する	身近な景観をみんなで守り、つくる
景観形成方針	整備の方策・施策の方向																													
水と緑のネットワーク景観の形成	河川、排水路の水辺景観を演出する / 拠点となる緑地の保全と充実を図る / ランドマークとなる大木・古木の保全 / 都市軸となる主要道路の緑化を推進する / 水と緑のネットワークを進める。																													
水辺レクリエーションエリアの景観保全と活用	天竜川の親水性を高める / 海洋レクリエーション拠点として海洋公園の充実をめざす / 遠州灘海岸を保全する / 海辺へのアクセスを改善する。																													
景観形成方針	整備の方策・施策の方向																													
道路空間の充実と修景	都市計画道路の整備を促進する / 導入路となる道路の景観形成を図る / うるおいのある道路づくり																													
魅力ある商業地景観の形成	掛塚商店街の景観形成 / 駒場・金洗地区商店街の景観形成 / 国道 150 号沿道の商業施設立地について																													
活力を生む工業地景観の形成	住工隣接地区の景観形成 / テクノタウンを代表する工業地景観の形成																													
公共公益施設の景観向上	町民の広場として、親しみやすい公共施設周辺の景観をつくる / 学校建築の景観的向上 / 寺社等景観保全																													
まちや地区のシンボルづくり	天竜川をモチーフにした景観形成 / 町民活動への展開																													
景観形成方針	整備の方策・施策の方向																													
歴史的景観資源の保全と継承	水運に関わる歴史を顕在化し伝える / 歴史的環境になじむ周辺景観を形成する / 伝統的な祭りを景観に生かす / 旧街道の面影を保全する																													
住宅地景観の向上	生垣のある住宅地景観をつくる / 地区内道路の修景 / まちかど広場の整備																													
田園・集落地景観の保全	田園景観を保全する / 田園景観と調和した集落地景観を保全する																													
身近な景観をみんなで守り、つくる	身近な景観を守る / 身近な景観をつくる / 住宅各戸の緑化推進と住民活動を支援する / 景観づくりを考える																													

地区景観形成ガイドプラン（掛塚市街地地区）	<p>（景観形成のテーマ）</p> <p>くらしと歴史が調和した景観づくり</p> <p>（景観形成の方針）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>景観形成方針</th><th>整備の方策・施策の方向</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歴史的資源の保全と活用</td><td>歴史的建築物の保全と活用 / 貴船神社周辺の景観形成 / 歴史的資源のネットワーク / 「掛塚湊歴史公園」づくり（参考）</td></tr> <tr> <td>特色ある街路景観の形成</td><td>かつての都市軸を印象づける町並の形成 / 旧道の修景 / 象徴的な参道景観の保全と修景</td></tr> <tr> <td>水と緑を生かした住宅地景観の形成</td><td>在来市街地の町並み景観の形成 / 在来市街地の細街路やオープンスペースの修景・整備 / 水辺を身近に感じるまちづくり / 緑地の保全と地区景観への活用 / 緑豊かな町並みの形成 / 大規模施設の修景 / 公園や広場の充実</td></tr> <tr> <td>表情豊かな商店街の景観形成</td><td>町並みの総合的な景観形成を図る / 地域性のある建築形態の応用 / 安全で快適な買い物空間の創出を図る / 駐車場の確保 / 新たに形成される商店街への対応</td></tr> </tbody> </table>	景観形成方針	整備の方策・施策の方向	歴史的資源の保全と活用	歴史的建築物の保全と活用 / 貴船神社周辺の景観形成 / 歴史的資源のネットワーク / 「掛塚湊歴史公園」づくり（参考）	特色ある街路景観の形成	かつての都市軸を印象づける町並の形成 / 旧道の修景 / 象徴的な参道景観の保全と修景	水と緑を生かした住宅地景観の形成	在来市街地の町並み景観の形成 / 在来市街地の細街路やオープンスペースの修景・整備 / 水辺を身近に感じるまちづくり / 緑地の保全と地区景観への活用 / 緑豊かな町並みの形成 / 大規模施設の修景 / 公園や広場の充実	表情豊かな商店街の景観形成	町並みの総合的な景観形成を図る / 地域性のある建築形態の応用 / 安全で快適な買い物空間の創出を図る / 駐車場の確保 / 新たに形成される商店街への対応
景観形成方針	整備の方策・施策の方向										
歴史的資源の保全と活用	歴史的建築物の保全と活用 / 貴船神社周辺の景観形成 / 歴史的資源のネットワーク / 「掛塚湊歴史公園」づくり（参考）										
特色ある街路景観の形成	かつての都市軸を印象づける町並の形成 / 旧道の修景 / 象徴的な参道景観の保全と修景										
水と緑を生かした住宅地景観の形成	在来市街地の町並み景観の形成 / 在来市街地の細街路やオープンスペースの修景・整備 / 水辺を身近に感じるまちづくり / 緑地の保全と地区景観への活用 / 緑豊かな町並みの形成 / 大規模施設の修景 / 公園や広場の充実										
表情豊かな商店街の景観形成	町並みの総合的な景観形成を図る / 地域性のある建築形態の応用 / 安全で快適な買い物空間の創出を図る / 駐車場の確保 / 新たに形成される商店街への対応										
地区景観形成ガイドプラン（新市街地地区）	<p>（景観形成のテーマ）</p> <p>新たな都市軸景観の形成</p> <p>（景観形成の方針）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>景観形成方針</th><th>整備の方策・施策の方向</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文化行政拠点地区周辺の景観形成</td><td>沿道の環境整備・景観誘導を図る / 拠点施設の景観向上を図る / 排水路の修景整備 / 慰霊塔周辺の整備</td></tr> <tr> <td>水路を生かした歩行者ネットワークの形成</td><td>排水路沿いプロムナードの整備 / 橋の修景 / 排水路沿線の景観誘導</td></tr> <tr> <td>市街地縦貫道沿道の景観形成</td><td>市街地縦貫道の位置づけ / 沿道工場の緑化推進 / 沿道住宅地の景観形成 / 商店街の景観形成 / 主要交差点の修景</td></tr> </tbody> </table>	景観形成方針	整備の方策・施策の方向	文化行政拠点地区周辺の景観形成	沿道の環境整備・景観誘導を図る / 拠点施設の景観向上を図る / 排水路の修景整備 / 慰霊塔周辺の整備	水路を生かした歩行者ネットワークの形成	排水路沿いプロムナードの整備 / 橋の修景 / 排水路沿線の景観誘導	市街地縦貫道沿道の景観形成	市街地縦貫道の位置づけ / 沿道工場の緑化推進 / 沿道住宅地の景観形成 / 商店街の景観形成 / 主要交差点の修景		
景観形成方針	整備の方策・施策の方向										
文化行政拠点地区周辺の景観形成	沿道の環境整備・景観誘導を図る / 拠点施設の景観向上を図る / 排水路の修景整備 / 慰霊塔周辺の整備										
水路を生かした歩行者ネットワークの形成	排水路沿いプロムナードの整備 / 橋の修景 / 排水路沿線の景観誘導										
市街地縦貫道沿道の景観形成	市街地縦貫道の位置づけ / 沿道工場の緑化推進 / 沿道住宅地の景観形成 / 商店街の景観形成 / 主要交差点の修景										

⑨豊岡村都市景観形成ガイドプラン(旧豊岡村)

計画の目的等		豊岡村を美しく魅力あるまちとするため、総合計画の基本理念「潤いのある美しい農村社会の建設を目指して」のもと、本村の景観形成のあり方を示し、今後のプロジェクトにおける景観形成の指針とする。	
策定年	平成 6 年 3 月	計画期間	
景観形成のテーマ／基本目標	美しい郷をめざして		
	歴史文化を大切にする		
	身近な自然を大切にする		
	個性ある景観をつくる		
	農業から学ぶ人に優しい環境づくり		
	魅力ある市街地景観を創造する		
	環境づくりを通して自然を敬い、まちを愛する人を育てる		
	景観形成の基本方針	1. 自然的・半自然的景観の活用	
景観形成方針		整備の方策・施策の方向	
産地・丘陵地等の景観保全		山並みの保全・活用 / 斜面緑地の保全・活用 / 自然的な公園の整備	
水辺地の景観保全・活用		河川の景観保全・修景 / 用水路の修景・整備	
眺望点・ランドマークの整備		眺望点の整備 / ランドマークへの留意	
2. 人工的な景観の形成			
景観形成方針		整備の方策・施策の方向	
都市軸景観の形成		主要道路の景観整備	
都市拠点景観の形成		交通結節点、村の出入口の顕在	
公園・緑地景観の形成		主要公園等の整備 / 緑のネットワーク形成 / 歴史的景観の保全・整備	
まち並み景観の形成		個性ある市街地景観の形成 / 緑を活かした魅力ある住宅地の形成	
沿道景観の整備		幹線沿道の修景 / 一般道・緑道等の修景 / 鉄道沿道の修景	
集落景観の整備		在来集落の風致と家並みの保全	
3. 活動の景観の形成			
景観形成方針		整備の方策・施策の方向	
非日常的行為による景観の整備		祭り・フェスティバルの育成	
日常的行為による景観の整備	レクリエーション施設の充実 / 個性と賑わいのある商業文化地形成 / まとまりのある農地景観の保全		

地区景観形成ガイドプラン（北地区）	<p>（景観形成のテーマ） 土と水と緑が織りなす新たな郷づくり</p> <p>（景観形成の方針）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>景観形成方針</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>拠点、軸の景観を計画的に創出する</td><td>○（都）天王山線・川原平松線の緑化・修景／○中心市街地におけるシンボルロード・公共的建築物の修景、多自然型公園、建物後退によるまち並み景観の形成／○新平山工業団地の更なる緑化</td></tr> <tr> <td>大楽地、神田など特徴ある集落景観の保全・誘導を図る</td><td>○住民協力による建築物形態の誘導</td></tr> <tr> <td>自然を活かした景観づくりを進める</td><td>○ミヤマツツジと眺望の良さを活かした公園（神田山城跡）と梅園までつながるフラワーロードの整備／○上野部川の水辺環境の整備による快適空間の創出</td></tr> </tbody> </table>	景観形成方針	内容	拠点、軸の景観を計画的に創出する	○（都）天王山線・川原平松線の緑化・修景／○中心市街地におけるシンボルロード・公共的建築物の修景、多自然型公園、建物後退によるまち並み景観の形成／○新平山工業団地の更なる緑化	大楽地、神田など特徴ある集落景観の保全・誘導を図る	○住民協力による建築物形態の誘導	自然を活かした景観づくりを進める	○ミヤマツツジと眺望の良さを活かした公園（神田山城跡）と梅園までつながるフラワーロードの整備／○上野部川の水辺環境の整備による快適空間の創出		
景観形成方針	内容										
拠点、軸の景観を計画的に創出する	○（都）天王山線・川原平松線の緑化・修景／○中心市街地におけるシンボルロード・公共的建築物の修景、多自然型公園、建物後退によるまち並み景観の形成／○新平山工業団地の更なる緑化										
大楽地、神田など特徴ある集落景観の保全・誘導を図る	○住民協力による建築物形態の誘導										
自然を活かした景観づくりを進める	○ミヤマツツジと眺望の良さを活かした公園（神田山城跡）と梅園までつながるフラワーロードの整備／○上野部川の水辺環境の整備による快適空間の創出										
地区景観形成ガイドプラン（南地区）	<p>（景観形成のテーマ） 田園景観を活かした郷づくり</p> <p>（景観形成の方針）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>景観形成方針</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緑のむらづくり</td><td>○集落の緑化、建築の保全・誘導による田園景観の形成／○豊岡総合センター、社山公園、ラブリバー公園、役場周辺の各拠点を接続する緑のネットワーク（水と緑の空間に触れる道づくり）／○豊岡総合センターを拠点とした食文化の交流拠点（体験農園、えび芋、薬草など）づくり／○工業地における高木植栽など田園景観との調和</td></tr> <tr> <td>農地の景観を守り育てる</td><td>○宅地化の抑制など、住民協力による農地の保全</td></tr> <tr> <td>水辺を楽しむ景観</td><td>○河川敷運動公園の修景とラブリバー公園との一体／○一雲済川・上野部川の合流地点への親水公園整備</td></tr> </tbody> </table>	景観形成方針	内容	緑のむらづくり	○集落の緑化、建築の保全・誘導による田園景観の形成／○豊岡総合センター、社山公園、ラブリバー公園、役場周辺の各拠点を接続する緑のネットワーク（水と緑の空間に触れる道づくり）／○豊岡総合センターを拠点とした食文化の交流拠点（体験農園、えび芋、薬草など）づくり／○工業地における高木植栽など田園景観との調和	農地の景観を守り育てる	○宅地化の抑制など、住民協力による農地の保全	水辺を楽しむ景観	○河川敷運動公園の修景とラブリバー公園との一体／○一雲済川・上野部川の合流地点への親水公園整備		
景観形成方針	内容										
緑のむらづくり	○集落の緑化、建築の保全・誘導による田園景観の形成／○豊岡総合センター、社山公園、ラブリバー公園、役場周辺の各拠点を接続する緑のネットワーク（水と緑の空間に触れる道づくり）／○豊岡総合センターを拠点とした食文化の交流拠点（体験農園、えび芋、薬草など）づくり／○工業地における高木植栽など田園景観との調和										
農地の景観を守り育てる	○宅地化の抑制など、住民協力による農地の保全										
水辺を楽しむ景観	○河川敷運動公園の修景とラブリバー公園との一体／○一雲済川・上野部川の合流地点への親水公園整備										
地区景観形成ガイドプラン（東地区）	<p>（景観形成のテーマ） 豊かな緑と清らかな水にふさわしい郷づくり</p> <p>（景観形成の方針）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>景観形成方針</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山辺にふれる景観づくり</td><td>○主要道路あるいは沿道の緑化、獅子ヶ鼻岩・鐘掛岩などの奇岩や秋葉道の案内板設置による顕在化／○山辺への入口としての敷地駅の修景と周辺景観の向上／○落葉広葉樹を増やし自然植生に近い景観の創出／○へい獣埋葬場の修景と関連道路の整備</td></tr> <tr> <td>敷地川の水辺環境を活かす</td><td>○敷地川沿いの桜並木の延長したプロムナードの整備／○多自然型工法の河川改修による生態系にやさしい環境の創出／○親水区間の設置や蛍の舞う夜間コンサートの開催などによる獅子ヶ鼻公園の魅力の向上</td></tr> <tr> <td>緑に調和した郷の家造り</td><td>○郷の家々の建築形態を踏襲した建築の誘導／○柿畑の観光農園としての活用／○大平小跡地を拠点に自然観察教室の開催</td></tr> <tr> <td>資源を活かした景観づくり</td><td>○大平、虫生での冷泉・山菜等を素材にした健康の郷づくり／○敷地での「獅子」をモチーフにしたサインシステムづくりと敷地米のPR、寿司コンテストの開催</td></tr> </tbody> </table>	景観形成方針	内容	山辺にふれる景観づくり	○主要道路あるいは沿道の緑化、獅子ヶ鼻岩・鐘掛岩などの奇岩や秋葉道の案内板設置による顕在化／○山辺への入口としての敷地駅の修景と周辺景観の向上／○落葉広葉樹を増やし自然植生に近い景観の創出／○へい獣埋葬場の修景と関連道路の整備	敷地川の水辺環境を活かす	○敷地川沿いの桜並木の延長したプロムナードの整備／○多自然型工法の河川改修による生態系にやさしい環境の創出／○親水区間の設置や蛍の舞う夜間コンサートの開催などによる獅子ヶ鼻公園の魅力の向上	緑に調和した郷の家造り	○郷の家々の建築形態を踏襲した建築の誘導／○柿畑の観光農園としての活用／○大平小跡地を拠点に自然観察教室の開催	資源を活かした景観づくり	○大平、虫生での冷泉・山菜等を素材にした健康の郷づくり／○敷地での「獅子」をモチーフにしたサインシステムづくりと敷地米のPR、寿司コンテストの開催
景観形成方針	内容										
山辺にふれる景観づくり	○主要道路あるいは沿道の緑化、獅子ヶ鼻岩・鐘掛岩などの奇岩や秋葉道の案内板設置による顕在化／○山辺への入口としての敷地駅の修景と周辺景観の向上／○落葉広葉樹を増やし自然植生に近い景観の創出／○へい獣埋葬場の修景と関連道路の整備										
敷地川の水辺環境を活かす	○敷地川沿いの桜並木の延長したプロムナードの整備／○多自然型工法の河川改修による生態系にやさしい環境の創出／○親水区間の設置や蛍の舞う夜間コンサートの開催などによる獅子ヶ鼻公園の魅力の向上										
緑に調和した郷の家造り	○郷の家々の建築形態を踏襲した建築の誘導／○柿畑の観光農園としての活用／○大平小跡地を拠点に自然観察教室の開催										
資源を活かした景観づくり	○大平、虫生での冷泉・山菜等を素材にした健康の郷づくり／○敷地での「獅子」をモチーフにしたサインシステムづくりと敷地米のPR、寿司コンテストの開催										

2. 市民意識調査結果概要

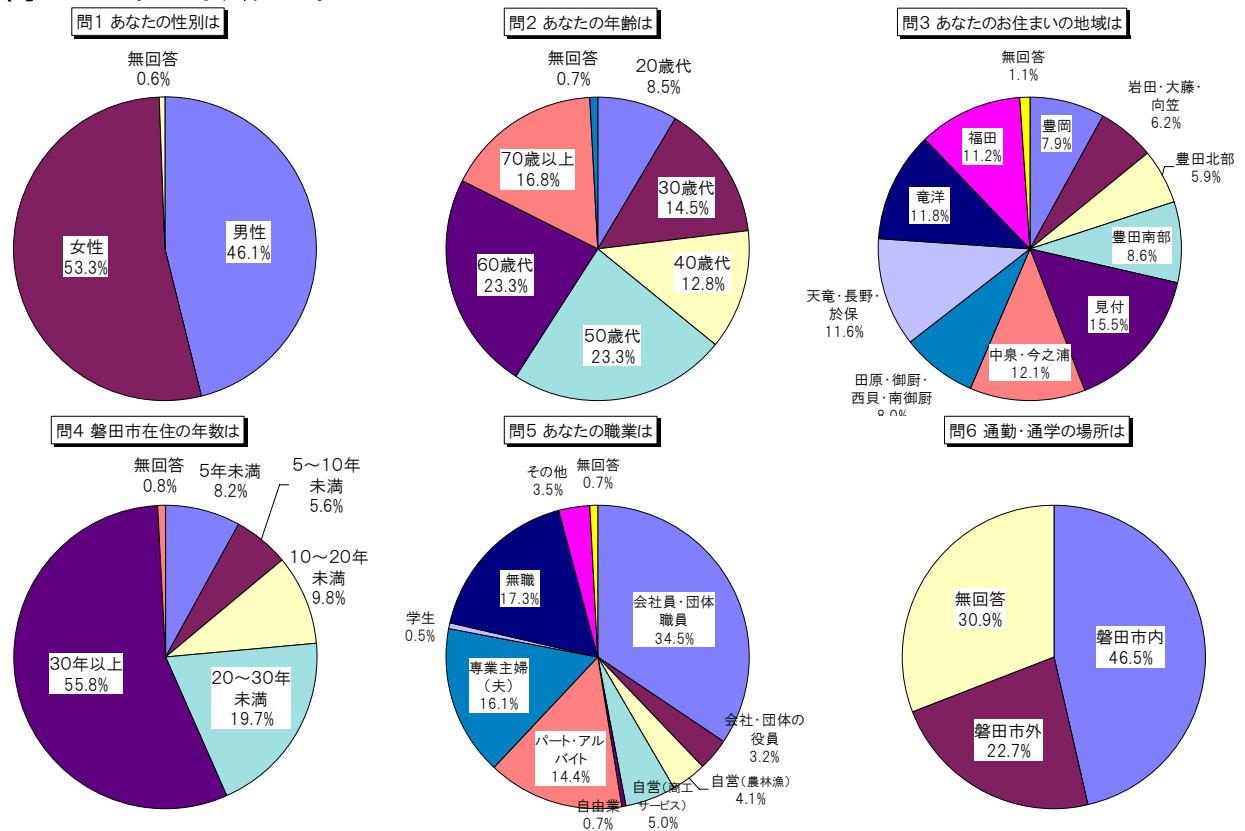
(1) 市民アンケート結果

① 調査の概要

調 査 目 的	▶ 景観形成ガイドプランを策定するにあたり、磐田市及び身近な地域の景観(街並みや自然の風景等)の現状や、良好な景観づくりに向けた取り組みなどについて、市民の意識を把握し、施策検討の基礎調査とすることを目的とする。
調 査 方 法	<div> <1>調査対象： 市内在住の 20 歳以上の男女 2,000 人 </div> <div> <2>抽出方法： 無作為抽出 </div> <div> <3>調査期間： 平成 20 年 10～11 月 </div> <div> <4>調査方式： 無記名郵送方式 </div>
回 答 率	▶ 833 票 (41.65%)

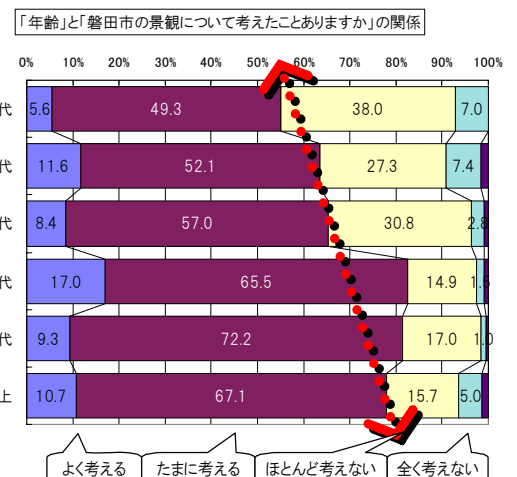
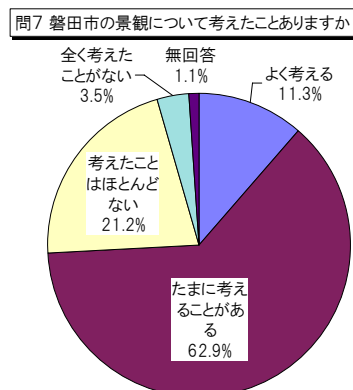
② 調査結果の概要

問 1～6：フェイスシート



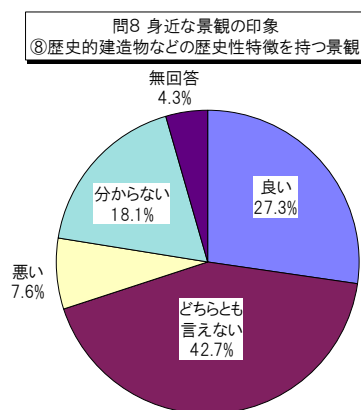
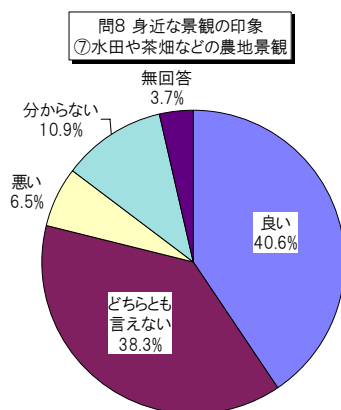
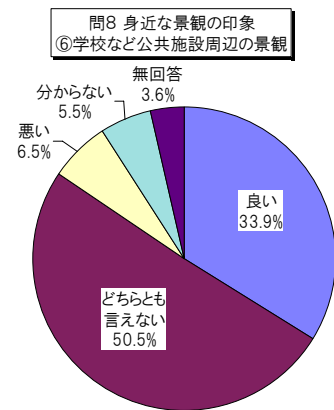
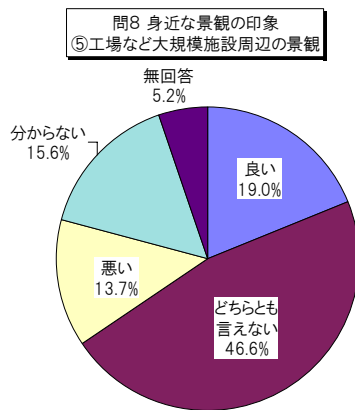
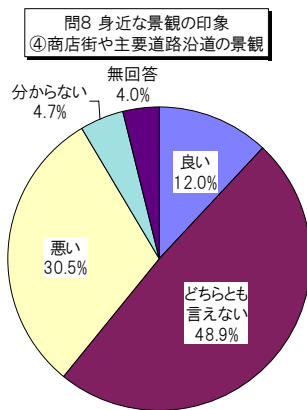
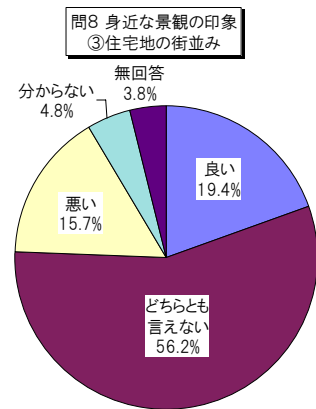
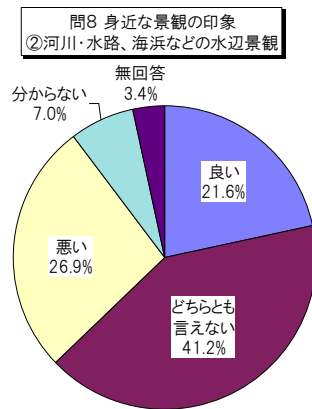
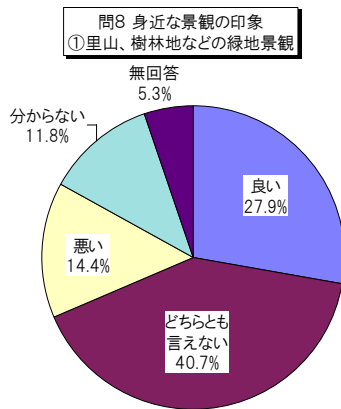
問 7：景観に対する関心

- 7 割以上がまちの景観について考えたことがある。(「たまに考えたことがある」62.9%、「よく考える」11.3%) 男女別、地域別では、傾向の差はない。
- 年齢別では、高齢層に比べて若年層の関心は低め。(「考えたことがない」20代-45.0%、30代-34.7%、40代-33.6%、50代-16.4%、60代-18.0%、70代以上-20.7%)



問8：身近な景観に対する評価

- ① 里山、樹林地などの緑地景観： 「良い」27.9% > 「悪い」14.4% (+13.5)
- ② 河川・水路、海浜などの水辺景観： 「良い」21.6% < 「悪い」26.9% (-5.3)
- ③ 住宅地の街並み： 「良い」19.4% > 「悪い」15.7% (+3.7)
- ④ 商店街や主要道路沿道の景観： 「良い」12.0% < 「悪い」30.5% (-18.5)
- ⑤ 工場など大規模施設周辺の景観： 「良い」19.0% > 「悪い」13.7% (+5.3)
- ⑥ 学校など公共施設周辺の景観： 「良い」33.9% > 「悪い」6.5% (+27.4)
- ⑦ 水田や茶畑などの農地景観： 「良い」40.6% > 「悪い」6.5% (+34.1)
- ⑧ 史跡などの歴史性特徴を持つ景観： 「良い」27.3% > 「悪い」7.6% (+19.7)



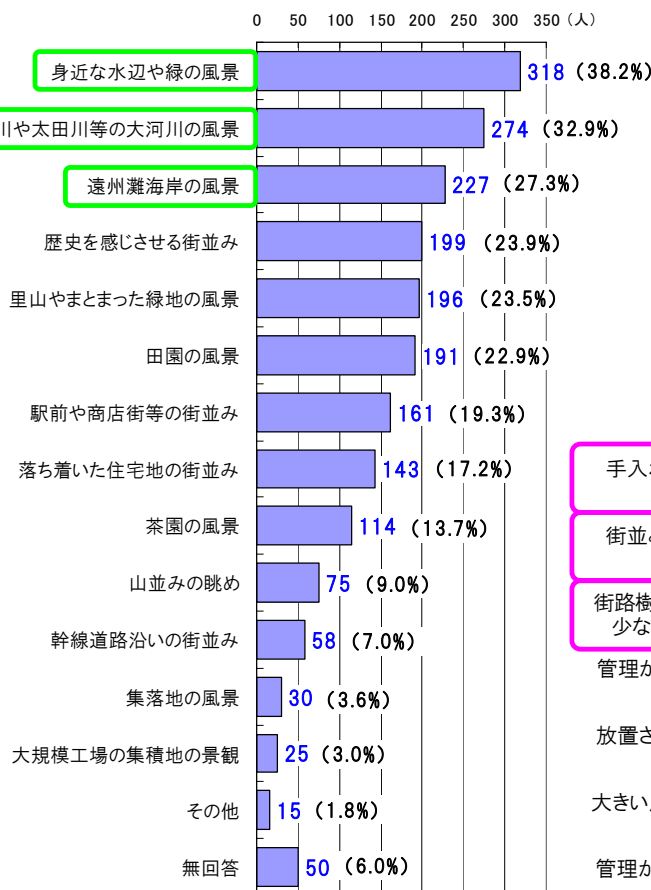
問9：守りたい景観資源

- 「身近な水辺や緑の風景」(38.2%)、「天竜川や太田川等の大河川の風景」(32.9%)、「遠州灘海岸の風景」(27.3%)と、河川や海岸などの水辺や身近な緑に関するものが最上位となっている。
- 「歴史を感じさせる街並み」(23.9%)、「里山やまとまった緑地の風景」(23.5%)、「田園の風景」(22.9%)など、歴史や緑地・農地に関するものも比較的高い割合となっている。

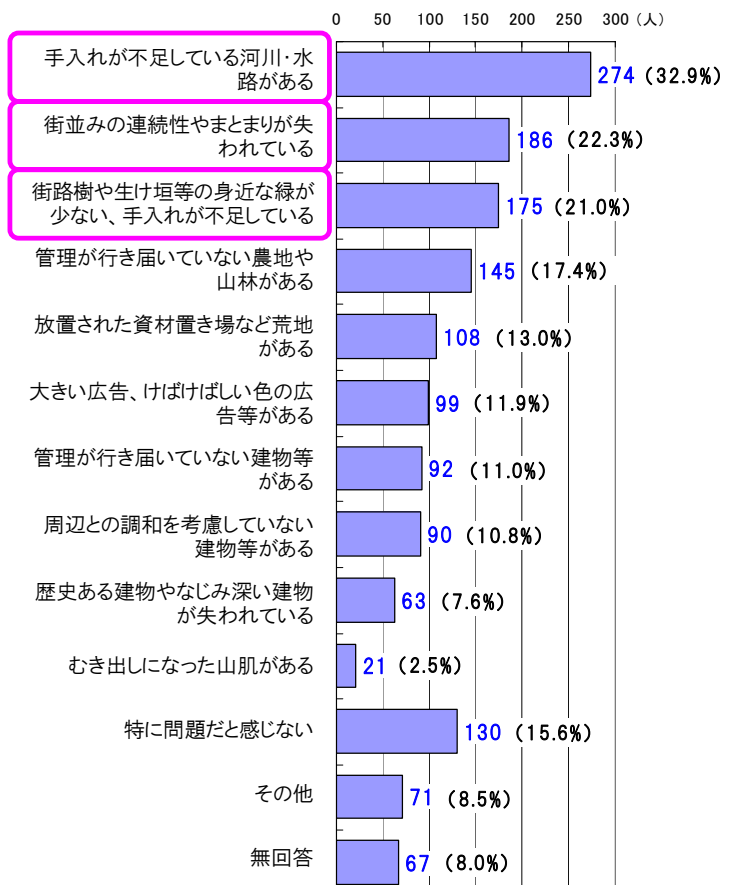
問10：改善したい景観資源

- 「手入れが不足している河川・水路がある」(32.9%)、「街並みの連続性やまとまりが失われている」(22.3%)、「街路樹や生け垣等の身近な緑が少ない、手入れが不足している」(21.0%)と、河川や道路等の公共施設に対する管理不足による景観・環境の悪化に対する指摘が多い。
- 「特に問題だと感じない」も 15.6%を占める。

問9：大切にしたい、守り育てたい磐田の景観

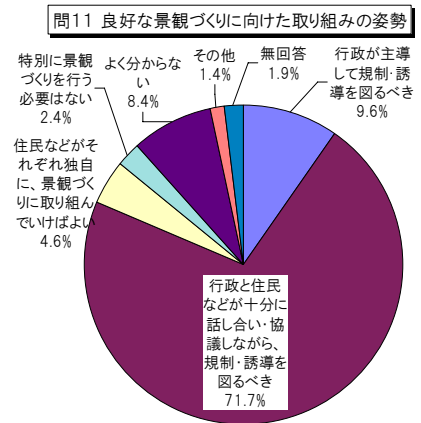


問10：特に改善等が必要だと感じる磐田の景観



問 11：景観形成の取り組み姿勢

- 「行政と住民などが十分に話し合い・協調しながら、規制・誘導を図るべき」が過半数(71.7%)を占める。



問 12：景観形成に関する行政の取り組み

※ポイントは、回答比率について、「特に重要」+2、「重要」+1、「あまり重要でない」-1、「重要でない」-2 を乗じて加算した値。

①建物等に関するルールづくり、それに基づく指導・規制：(+63.0)ポイント

「特に重要」15.6% 「重要」52.3% > 「あまり重要でない」14.5% 「重要でない」3.0%

②景観に配慮した公共施設、道路、公園等の整備：(+104.7)ポイント

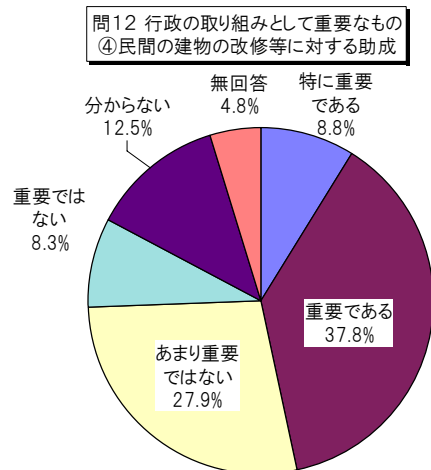
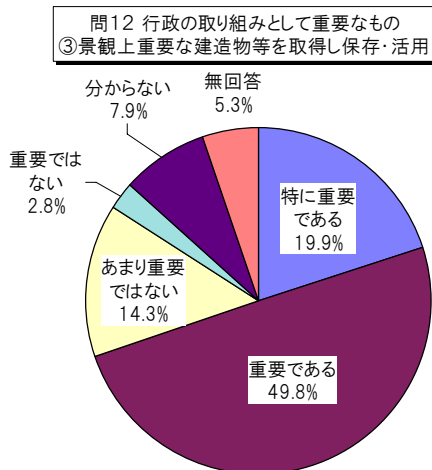
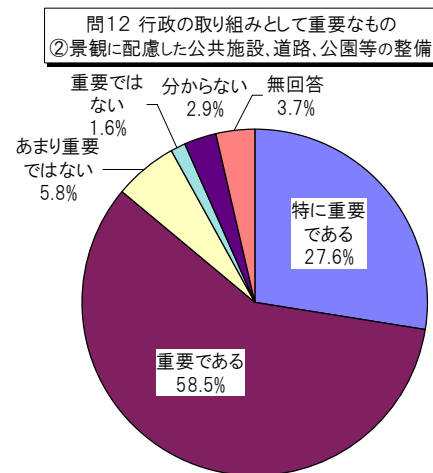
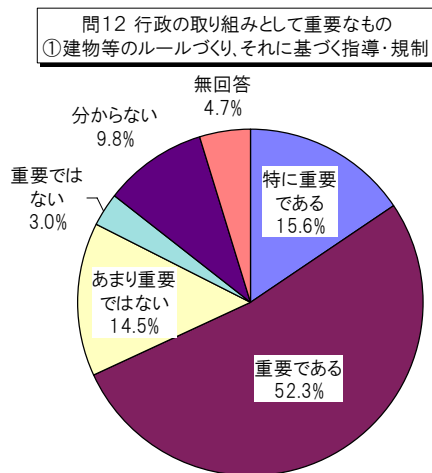
「特に重要」27.6% 「重要」58.5% > 「あまり重要でない」5.8% 「重要でない」1.6%

③景観上重要な建造物や樹木等を取得して保存・活用：(+69.7)ポイント

「特に重要」19.9% 「重要」49.8% > 「あまり重要でない」14.3% 「重要でない」2.8%

④良好な景観づくりのための民間の建物の改修等に対する助成：(+10.9)ポイント

「特に重要」8.8% 「重要」37.8% > 「あまり重要でない」27.9% 「重要でない」8.3%



〈参考資料〉 市民意識調査結果概要

⑤住民などが主体となった景観づくりの活動に対する助成 : (+54.7)ポイント

「特に重要」11.8% 「重要」55.1% > 「あまり重要でない」15.6% 「重要でない」4.2%

⑥住民などが主体となった景観づくりの活動に対する技術支援 : (+49.3)ポイント

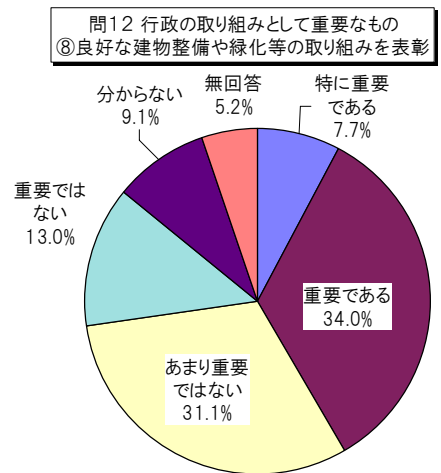
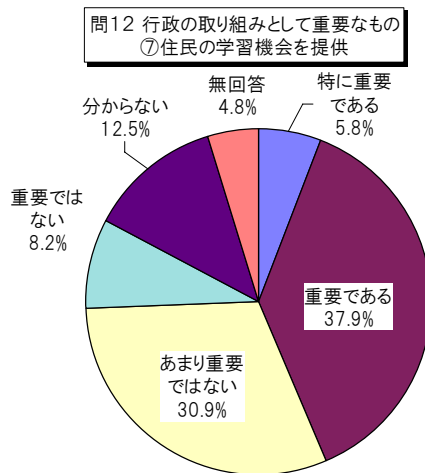
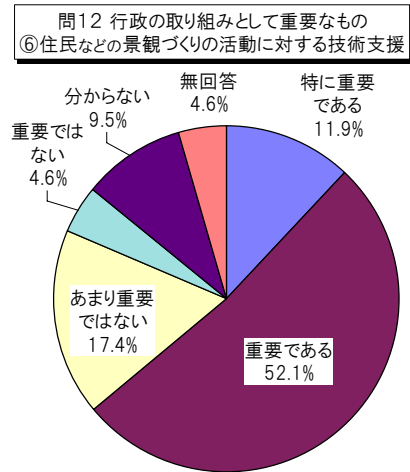
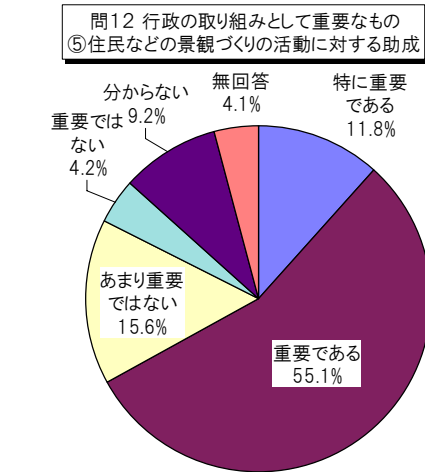
「特に重要」11.9% 「重要」52.1% > 「あまり重要でない」17.4% 「重要でない」4.6%

⑦住民の学習機会を提供 : (+2.2)ポイント

「特に重要」5.8% 「重要」37.9% > 「あまり重要でない」30.9% 「重要でない」8.2%

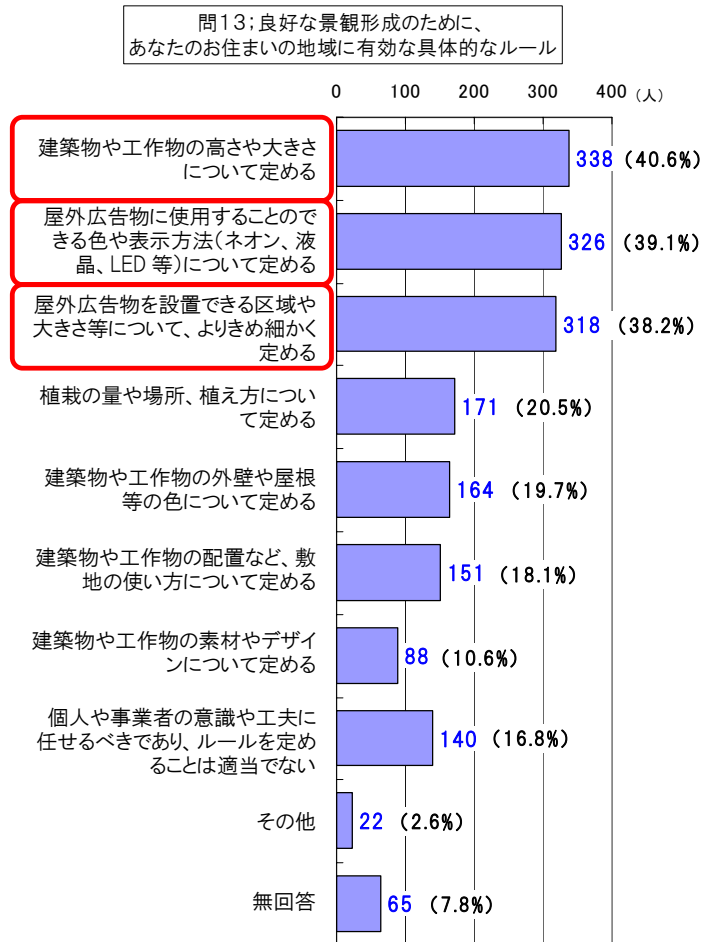
⑧良好な建物の整備や緑化等の優れた取り組みを表彰 : (-7.7)ポイント

「特に重要」7.7% 「重要」34.0% < 「あまり重要でない」31.1% 「重要でない」13.0%



問 13：景観形成に有効なルール

- 「建築物や工作物の高さや大きさについて定める」(40.6%)、「屋外広告物に使用することのできる色や表示方法(ネオン、液晶、LED 等)について定める」(39.1%)、「屋外広告物を設置できる区域や大きさ等について、よりきめ細かく定める」(38.2%)と、良好な景観形成のために、建築物等の規模や屋外広告物の掲示に関するルールが有効との意見が多い。
- 一方、「個人や事業者の意識や工夫に任せるべきであり、ルールを定めることは適当でない」も 16.8%を占める。



問 14：景観づくりへの参加状況

①自分自身でできる景観づくりの実施：

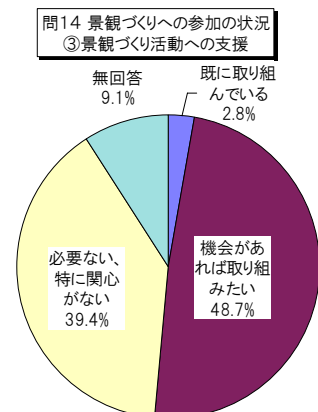
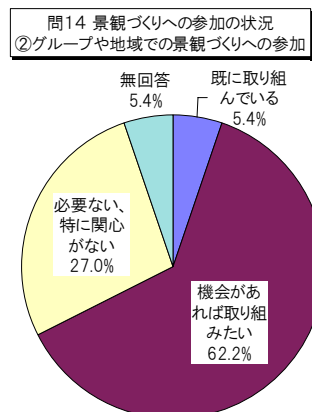
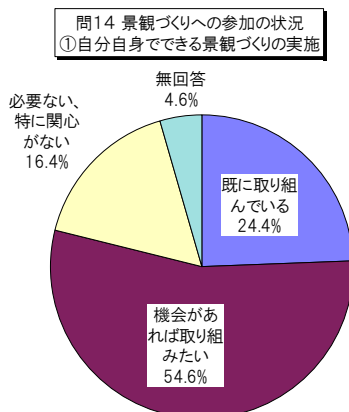
「既に取り組んでいる」(24.4%)、「機会があれば取り組みたい」(54.6%)、「必要ない、特に関心がない」(16.4%)

②グループや地域での景観づくりへの参加：

「既に取り組んでいる」(5.4%)、「機会があれば取り組みたい」(62.2%)、「必要ない、特に関心がない」(27.0%)

③景観づくり活動への支援：

「既に取り組んでいる」(2.8%)、「機会があれば取り組みたい」(48.7%)、「必要ない、特に関心がない」(39.4%)



自由意見

①磐田市の景観の現状・特性に関する

遠州灘から富士山までの雄大な眺望景観

緑豊かな景観、四季を感じる場所等

街路樹の美しい道路

景観への配慮不足

高層建造物が増加

荒廃農地の増加

河川の水質悪化等

②景観づくりの考え方や取り組み姿勢等に関する

景観づくりは特に重要な課題ではない

現在の状態を大切に
ゆっくりと改善

景観は単なるデザインの
問題ではない

良好な街並みづくりの波及
効果

住民一人ひとりの取り組み
が重要

多くの人が利用する場所の
景観を重視

景観悪化の原因究明

観光や健康に結びつく景観

季節を感じる景観づくり

街並み統一のテーマ設定

重点地区の設定

地域ごとに細かな景観誘導

先進事例の研究

学校教育の充実、身近な景
観に対する愛着

住民意識の向上

住民参加の促進

専門家との連携

若者が魅力を感じる景観

集客施設を活かした景観整備

③今後の景観整備(緑・水辺、歴史等)に関する

自然環境を活かした景観整備

歴史的資源を活かした景観整備

海岸景観の保全

農村景観の保全

④今後の景観整備(市街地等)に関する

駅周辺景観の整備・改善

電線類の地中化等

街路樹の管理・充実等

公共サインの整備

既存公共施設の景観改善

見付地区の重点的整備

新規街並みの一体的な整備

緑地景観、公園緑地の整備

大池周辺の整備

巨木の保全等

花による地域の景観づくり

夜間景観の配慮、演出

⑤今後の景観規制・誘導等に関する

看板類の規制強化

建造物の規制強化(高さ等)

専門部署、スタッフの配備

国・県・市の連携強化

自分の敷地の管理

(2)関係団体ヒアリング結果

①調査の概要

調 査 目 的	▶ 景観形成ガイドプランを策定するにあたり、景観関係団体の取り組み状況や課題、今後の磐田市における景観まちづくりに関する意見などについて把握することを目的とする。
調 査 方 法	<p><1>調査対象： 参考資料■景観関係団体概要から無作為抽出により2団体</p> <p><2>調査方式： 直接聞き取り調査</p>

②調査結果の概要

■見付宿を考える会

活動概要	▶ 「歴史が息づくまちづくりの推進」、「見付らしさの再現と新しいまちの創造」、「地域像に立脚した活力あるまちづくり」を目標に、4つの部会(名物部会・水の部会・佇まい部会・磨き上げ部会)を組織し、具体的な活動を行っている。
組織メンバー、近年の活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員は 40 名弱、実動は 12～13 人程度。その中で、本通り商店街からの参加は 4 名程度。 ・ 考える会の定例は月 1 回。参加しない会員が増えつつある。東海道 400 年、徳川幕府 400 年あたり(数年前)が活動のピークであり、近年は関心の低下を感じる。
街並み形成と商業活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商店主は、街並み形成が、商売繁盛に結びつくことを期待しているが、次の代の商売の継続も不透明な(後継者の問題が大きい)店舗も多く、景観形成を含めて、新たな活性化の方策に踏み出せない人が多い状況といえる。
街並みイメージに関するコンセンサスの状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本通りの街並みに対する考え方は、各年代、本通りに面する(商店)・面しない人(住宅)で大きく異なる。 ・ 旧街道の街並みが残っていない現状からすれば、江戸時代風といった特定のテーマにこだわって進めるのは難しい状態である。もっと柔軟に良好な景観形成に向けて取り組める枠組みや視点が求められている。 ・ 景観計画の策定などにおいては、行政主導だけでなく、住民側から対案を提示させる等の手順を踏むことで、妥協点を探っていく必要があると考える。また、本通りでのセットバックには抵抗感は大い。道路拡張でかなり敷地が減った上に更にという気持ちの人がかなりいる。
小路の修景整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小路の整備も順次進められているが、路面の修景だけでなく、沿道の修景・誘導等も合わせて進めないと効果は小さい。
蔵等の修景整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蔵等の保全・修景に関しては、補助金も交付され、数件の実績もあるが、修景された蔵等を活用した活動にまではつなげていない。
他の歴史地区へのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 池田や掛塚などの市内の他の歴史的地区については、住民の積上げの中から妥協点を探っていくこと、また、当初において地元の各グループをまとめていくことが重要となると思う。

■ニッセ倶楽部

活動概要	<p>➤ 磐田原(一言地区)の斜面緑地(照葉樹林)を利用した里山再生活動。斜面緑地を中心に、周辺の河川や農地が育んできた生物の生育環境の維持保全と、子どもたちが安心して自然と触れあえる場所づくり。</p>
活動メンバー、定期活動等	<ul style="list-style-type: none"> ● 会員制で現在の会員は 15 名。中心的なメンバーが 7～8 名。元磐田農高の先生や周辺農家の方などにアドバイザー的にかかわってもらっている。 ● 年会費 6000 円。会員は基本ボランティアで、やれる人がやれる時に、自分達が楽しめる範囲で取り組むというのが基本。毎週土曜日午前中に活動、平均 6 名程度が出席。 ● ビオトープ整備:植栽(花・実のなる木、昆虫が集まる木など)、樹木等への名称プレートを設置、器具小屋の設置、水路・ポンプの整備、畑(ジャガイモ、サツマイモ)、山野草や水生植物の植え付け、田(古代米)など。
森の地権者	<ul style="list-style-type: none"> ● 会が活動する用地(森・農地)は無償で借用。地権者は 9 名。 ● いずれの地権者も、ニッセ倶楽部が活用することを、最初から快く承諾してくれており、倶楽部の活動開始はスムーズであった。
最近の主な活動	<ul style="list-style-type: none"> ● 春・夏・秋・冬の季節ごとに活動イベントの開催:古代米の田植え・稲借り・脱穀、動植物観察会、地層等学習会など。 ● 地域の小学校や幼稚園の総合学習(地域学習)の受け入れ:最初は豊田南小ほか平均月 1 回。当初に予想していた以上に地域に喜んでもらっている。
他団体との連携等	<ul style="list-style-type: none"> ● イベントでは、食推協の協力を得て食事も提供、多くの参加者に好評である。地産地消の促進などは、倶楽部の活動とも重なる面もあり、連携も上手くいっている。
波及効果等	<ul style="list-style-type: none"> ● 子ども達に自然の中で活動・体験する場を提供することで、その親・兄弟や地域の参加を促すなど、サポーターが増えていく好循環がある。
森活用の原則等	<ul style="list-style-type: none"> ● 森への出入りは原則自由で、安全管理等は自己責任としている。安全柵などもできる限り設置しない考え。祝川での子ども達の川遊びも、安全を考慮しながら原則自由としている。
ニッセ倶楽部の目指す景観づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 森を外から眺めるだけでなく、森に入ることを感じる風景、五感で感じる風景を提供できていることに意義があると考えている。したがって、そのことから人と自然が調和した憩いの空間が作り出されており、なるべく自然なままの状態としておきたいと考えている。 ● 今後も、斜面緑地、農地、河川の一体感を大切に風景づくりを進めていくことになる。
他地域へのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ● ニッセの森以外の台地斜面緑地をゾーンとして保全していくことも課題と考えられる。他の地区についても、適当な世話人(組織)がいれば、活動として成り立つと思う。

3. 景観形成ガイドプラン策定体制

(1) 磐田市景観形成ガイドプラン策定懇話会

ガイドプラン策定にあたり、学識経験者や関連団体の委員から各種専門の立場で意見を求めるために、磐田市景観形成ガイドプラン策定懇話会を設置した。

また、市民の意見をガイドプランに反映させるため、市民代表委員を公募し、会議記録をホームページで公開した。

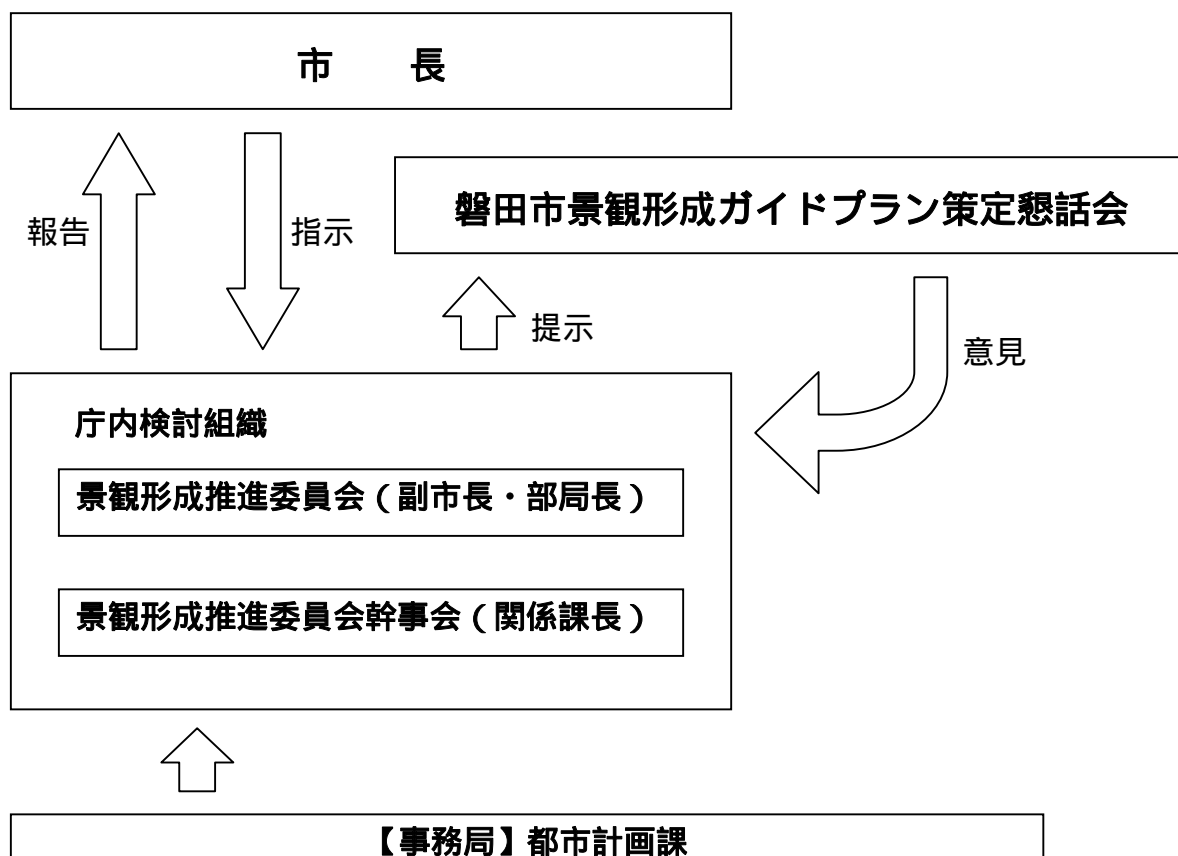
(2) 庁内検討組織

① 景観形成推進委員会

既存の組織を活用し、関係部局の調整を図り、ガイドプラン策定に伴う調査研究を実施した。

② 景観形成推進委員会幹事会

各課所管施策事業などの調整を図り、ガイドプランの素案を策定した。



〈参考資料〉 景観形成ガイドプラン策定体制

磐田市景観形成ガイドプラン策定懇話会設置要綱

(設置)

第1条 磐田市は、総合的な景観まちづくりを推進する指針としての磐田市景観形成ガイドプランを策定するため、磐田市景観形成ガイドプラン策定懇話会(以下「懇話会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 懇話会は、磐田市景観形成ガイドプランの基本的事項について意見交換及び協議する。

(組織)

第3条 懇話会は、委員8人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 農業関係団体の代表者
- (3) 商工観光関係団体の代表者
- (4) 市民の代表者

3 委員の任期は、磐田市景観形成ガイドプランが策定される日までとする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第4条 懇話会に、会長及び副会長各1人を置く。

2 会長は、委員の互選とし、副会長は、委員のうちから会長が指名する。

3 会長は、会務を総理し、懇話会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 懇話会の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 懇話会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会長が必要と認めるときは、関係者の出席を求め、意見又は説明を聴くことができる。

(庶務)

第6条 懇話会の庶務は、建設部において処理する。

(その他)

第7条 この告示に定めるもののほか、懇話会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この告示は、平成21年8月11日から施行する。

磐田市景観形成ガイドプラン策定懇話会委員名簿

氏 名	所 属 (職)	分 野
吉 岡 庸 光	静岡産業大学(教授)	学識経験者 (環境等)
金 子 弘 一	静岡県建築士会(前中遠支部長) 金子一級建築士事務所	学識経験者 (建築)
白 川 悦 男	磐田市農業委員会(農業振興部会長)	農 業
栗 山 恵	磐田商工会議所(会員) 一級建築士事務所 アトリエWALK	商工観光
大橋 美枝子	桶ヶ谷沼を考える会(会員) 静岡県環境学習指導員	環 境
松 本 直 希	いわた大祭り実行委員会	市民代表
山 下 千 晴	市 民	市民代表
青嶋 映理子	市 民	市民代表

磐田市景観形成推進委員会規程

(設置)

第1条 磐田市は、市内の景観形成に関し、潤いある美しいまちづくりを推進するため、磐田市景観形成推進委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 委員会は、景観形成の推進に伴う調査研究及び関係部課の相互調整を図る。

(組織)

第3条 委員会は、委員長及び副委員長各1人並びに委員6人をもって組織する。

2 委員長は、副市長を、副委員長は、建設部長をもって充てる。

3 委員は、次に掲げる職にある者をもって充てる。

- (1) 総務部長
- (2) 企画財政部長
- (3) 生活文化部長
- (4) 健康福祉部長
- (5) 産業環境部長
- (6) 教育委員会事務局長

(委員長及び副委員長)

第4条 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 委員長は、必要に応じて、関係者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(幹事会)

第6条 委員会に幹事会を置く。

2 幹事会は、関係課長をもって充て、委員会の所掌事務について、委員を補佐する。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、建設部において処理する。

(その他)

第8条 この訓令に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この訓令は、平成17年4月1日から施行する。

附 則(平成19年3月27日訓令第2号)抄

(施行期日)

1 この訓令は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成22年3月31日訓令第8号)

この訓令は、平成22年4月1日から施行する。

〈参考資料〉 景観形成ガイドプラン策定体制

磐田市景観形成推進委員会幹事会設置要領

(設置)

第1条 磐田市景観形成推進委員会規程(平成17年磐田市訓令第16号)第6条の規定により、磐田市景観形成推進委員会幹事会(以下「幹事会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 磐田市景観形成ガイドプラン策定に関すること。

(組織)

第3条 幹事会は、会長及び会員12人をもって組織する。

2 会長は都市計画課長をもって充てる。

3 会員は、次表に掲げる職にある者をもって充てる。

道路河川課長	文化振興課長
建築住宅課長	環境保全課長
都市整備課長	社会福祉課長
自治振興課長	商工観光課長
政策企画課長	農林水産課長
生涯学習課長	文化財課長

(会長)

第4条 会長は、会務を総理し、幹事会を代表する。

(会議)

第5条 幹事会の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会長は、必要に応じて、関係者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(庶務)

第6条 幹事会の庶務は、建設部都市計画課において処理する。

(その他)

第7条 この要領に定めるもののほか、幹事会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この要領は、平成21年7月2日から施行する。

附 則

この要領は、平成22年4月1日から施行する。